

〔資料紹介〕

芳野金陵旧蔵資料目録（稿）

町 泉寿郎・清水 信子

はじめに

本誌前号に「芳野金陵宛安井息軒書翰（芳野家所蔵）の解題と翻印」を掲載したのち、平成二十六年度に入り、我々は芳野家所蔵資料の本格的な整理作業に着手した。ここに紹介する資料目録は、その第一次整理作業の成果である。我々の整理対象は、芳野金陵とその一族の所蔵にかかる書籍および主に冊子体をなしている文書であり、これ以外の書翰等の文書は別途、柏市教育委員会において整理作業が進められている。

目録を掲載するにあたり、芳野家歴代の略伝を本稿に必要な範囲で紹介しておこう。

芳野家の先祖は大和国宇陀の芳野^{ほうの}の出身とも言われ、家伝によれば南北朝期に南朝に仕えた武家であり、南朝衰退により山伏に身を簞し熊野を経て関東に移住したという口碑が残る。そのうち下総国相馬郡松ヶ崎村に定住した者が金陵の直接の祖先

であり、その時期は天正頃とも言われる。本家は治左衛門を称し、その分家に治兵衛・五右衛門等があり、芳野家は江戸期には代々同村の村役人を勤めた家柄である。金陵は五右衛門家のさらに分家に生まれている。

金陵の祖父（一七三二～一八〇三）は通称を幸八、法号を道照という。金陵の父（一七六六～一八三二）はその二男で、向学心が強く分家し医業（在村医）に従事し傍ら学問を教えた。名を彝倫^{つねとよ}、字を叙卿といい、南山と号した。五十歳（一八一五）で金陵を伴って江戸に出て豊島町に儒・医を開業したが、間もなく郷里に戻った。金陵の兄弟とその子孫も医業従事者が多く、兄（一七九九～一八七二）は名は克敬、通称は亀次郎、字は親伸、道齋と号した。大坂で和田東郭門の小松大陵に従学し、一時は秋田新田藩に仕官した。これが医家芳野家の本家というべき家で、子孫が現在も柏市において巻石堂病院を営んでいる。弟（一八〇九～一八五七）は名は衡、字は士権また士

平といい、道紀と号し、同じく医業に就いた。医家芳野の分家というべき家で、子孫が近年まで如春堂医院を営んだ。

金陵は享和二年十二月二十日(1803.1.13)に生まれ、幼名は愿三郎、名を世育、字を叔果、通称を立蔵といった。金陵と号し、晩年に匏宇・天鬻老人と号した。二十二歳(一八二三)で亀田鵬斎・綾瀬に入門し、二十五歳(一八二六)で開塾。以後、火災等による転居を重ねながら主に下町で学を講じた。四十六歳(一八四七)で駿河田中藩(七代藩主正意)に仕官し、正意の七男正訥の教育に当たり、正訥を八代正寛の継嗣とすることに尽力。いわゆる幕末三公子や開明派幕臣と親交があり、嘉永く安政中には同志と国防問題を講究し、老中久世広周らに建議した。文久二年十二月十二日(1863.1.31)に安井息軒・塩谷宏陰とともに昌平坂学問所付の幕府御儒者に登庸され(文久三博士)、学問所管轄下に小学十数を開設することや本邦諸儒経解の編纂を建議したが、実現しなかった。学問所が新政府に接收された後、明治元年十二月に昌平学校二等教授を拝命し、同三年七月に大学中博士になるまで、移行期の学務に従事した。のちに大塚窪町の旧守山藩邸約三万坪を購入して移住し(一八七四)、人夫を雇って開墾しまた家塾逢原堂を営む晴耕雨読の晩年を送った。明治十一年八月五日、七十七歳で歿した。法号は文康院天真道晃。その子女は次の通りである。

長男純蔵(天保元年1830四月く弘化二年1845二月二十九

日、十六歳)、名は長毅、字は伯任、復堂と号す。法号は慈雲妙映。『復堂遺稿』あり。

二男育蔵・郁蔵(天保五年1834八月く嘉永元年1828八月十八日、十五歳)、法号は文達郁芳。

長女みさ・菅子(天保八年1837二月く大正四年1915二月二十四日、七十九歳)、幕末期には福井藩奥老女を勤め、維新後、飯野吉兵衛に嫁したが、のち家に戻り、弟世経の営む漢学塾逢原学校の分校として女学校を本石町に開設し教授に当たった。法号は宣懿妙徳。

二女寿賀(天保十年1839く明治二十年1887二月二十四日、四十九歳)、幕臣(根来組)板橋紋三郎に嫁し、隆吉(名は世棟)を生んだ。法号は柳雲貞敬。

三男莞六郎・秀六郎(弘化元年1824十月十六日く明治五年1872九月十日、二十九歳)、名世秀また世行、字は実甫、通称は新一郎、劔堂・桜陰と号した。父および安井息軒・塩谷宏陰に学び、田中藩校日知館の助教(一八六〇)、ついで昌平坂学問所助教(一八六三)を拝した。尊攘の志篤く、天狗党の乱に参加するため元治元年七月に水戸へ向かったが、九月に鹿島の大船津で幕府軍に敗れて捕えられ投獄された。維新後は一時、弾正台に出仕したが、若くして病没した。『桜陰遺稿』あり。

三女てつ(嘉永元年1848四月二日く明治三十六1903年八月十八日、五十六歳)

四男福七郎（嘉永二年1829十一月二十七日～昭和二年1927六月二十日、七十九歳）、名は世福、のちに世経、過亭とした。父の業を継いで自邸で茶・桑を栽培生産し、漢学塾「逢原学校」を営む旁ら、東京府会議員、衆議院議員（副議長）などを歴任し政治家として知られた。

五男良八郎（嘉永四年～嘉永六年六月三十日、三歳）。

金陵の孫の世代では、世経の嗣子幹一（一八八五～一九七〇）は、東京の京北中学校から第四高等学校を経て、東京帝大文科大文学科（支那文学専修）を大正三年に卒業し、在学中は星野恒や服部宇之吉らの教えを受け、旧制の学習院高等科の教授（一九二五～四五）として漢文を講じた。共著に『漢語海』あり。

現在の当主赳夫氏（一九二九～）は幹一の長男で、自然電磁波の分野で世界的業績をあげ、電気通信大学の教授を勤め、第三次南極観測隊員、第十七次南極観測隊長を歴任している。

凡例

一、本目録は、芳野家旧蔵資料（現在二松学舎大学所蔵）のうち、書籍類、文書類についての目録である。

一、書籍類は、内容により大別すれば、漢籍とそれに関する邦人著作（漢籍関連文献）、その他日本漢学、漢詩文をはじめめとした邦人著作（その他邦人著作）、そして芳野家代々の人物による各種雑稿、雑抄等（芳野家関係資料）の三種となり、その別により分類、排列した。

一、各分類は、以下の分類基準により、別に立てた。

・漢籍関連文献：原則として、『東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録』における四部分類の分類項目、分類に準拠したが、適宜変更を加えた。

・その他邦人著作：原則として、大分類は国文学研究資料館「日本古典籍分類表」に準拠し、続く中分類、及び項目順は適宜変更を加えた。

・芳野家関係資料：人物別、年代順に排列した。

一、同分類項目の排列は、資料成立年代順、或いは編著者生年順とし、注釈資料については、その原本に続けた。

一、表記は、原表記に関わらず常用漢字体に統一した。

一、各資料の書誌事項は、第一行に、書名・巻数、編著者事項、成書事項、冊数、第二行にその他特記事項を記し、補足事項は（ ） 、推定事項は〔 〕内に記した。

一、書名は、原則として内題（巻頭題）より定め、明記されていない場合は、外題、或いは著述内容等により定め、その場合（一）に入れた。

二、編著者事項は、本文巻頭の編著者記載事項により、邦人著作については、原則として原本記載事項を表記通り記載し、異名等の場合は適宜（一）内に字号等を補った。漢籍、及び漢籍和刻本については、原本表記に関わらず、朝代、或いは国名を冠した各本姓名、続いて著述者は「撰」、編者は「輯」、その他、校注者等は「校」「訂」「注」等と附した。本文巻頭に明記されていない場合は、序跋等により適宜定め、その場合（一）内に記した。

一、出版者については、出版地を冠したが、江戸期の資料については、原本表記に関わらず、「江戸」「京都」「大坂」に統一した。

一、文書類の分類、排列については、辞令類、昌平坂学問所関係、家塾逢原堂関係、その他、書画類を大別し、概ね年代順に排列した。

●分類

書籍類

一、漢籍関連文献

（一）経部

易類

書類

詩類

礼類

春秋類

四書類

孝経類

諸経総義類

小学類

（二）史部

正史類

古史類

別史類

雜史類

詔令奏議類

伝記類

地理類

職官類

政書類

書目類

金石類

史評類

- (三) 子部
 - 儒家類
 - 兵家類
 - 法家類
 - 医家類
 - 藝術類
 - 小説家類
 - 雑家類
 - 類書類
 - 道家類
- (四) 集部
 - 楚辭類
 - 別集類
 - 総集類
 - 詩文評類
 - 詞曲類
 - 小説類
- 二、その他邦人著作
 - (一) 宗教
 - (二) 漢学
 - 朱子学派
- (三) 漢詩文
 - 古学派
 - 折衷・考証学派
 - その他
- (四) 言語
 - 詩文評・作詩法
 - 作品集
 - 言語
 - 和語
 - 漢語
- (五) 文学
 - 漢字・語彙
 - 語法・語論
 - 詩歌
 - 外国文学
- (六) 歴史
 - 史論
 - 伝記
 - 陵墓
 - 家伝・家譜
- (七) 地理
 - 地理
 - 地誌
 - 地図

(八) 政治・法制・故実

政治

海防・外事

法制

官職官制

故実

(九) 経済

(一〇) 教育

往来物

教訓・教育

(一一) 理学

(一二) 医学

(一三) 農業

(一四) 藝術

(一五) 武学・武術

(一六) 雑

随筆

雑記

雑抄

三、芳野家関係資料
(一) 南山

(二) 金陵

(三) 復堂

(四) 世秀

(五) 世経

(六) その他

文書類

一、辞令類

芳野金陵

芳野世秀(桜陰)

二、昌平坂学問所関係文書

三、家塾逢原堂関係文書

門人帳類

名簿類

その他

四、その他の文書

五、書画

軸装

未装および捲り

書籍類

一、漢籍関連文献

(一) 経部

易類

周易十卷 魏王弼註 江戸初期刊本 大五冊

眉欄、行間に綾瀬書入詳密にあり、又金陵書入あり。印記「擇／善館」(白文正方印)「尚友齋」(朱文長方印)、他不明朱文正方印各一類。

周易十卷 魏王弼註 宝暦九年京都風月荘左衛門等刊本 存半三冊 (原五冊)

金陵書入あり。奥付部識語「常州筑波郡田中庄／谷田部新号／廣瀬氏ノ門人／円□字章春齋」。

周易九卷埴略例一卷 魏王弼・晋韓康伯注 魏王弼撰略例 唐邢璣注 日本井上通熙校 宝暦八年須原屋茂兵衛前川六左衛門刊本 半五冊

外題(題簽)「周易古註」、書写者不明の詳密書入あり。不明朱文長方印一類。

周易兼義九卷略例一卷埴周易注疏校勘記九卷埴略例校勘記一卷

埴釈文一卷 魏王弼・晋韓康伯注 唐孔穎達等奉勅疏 魏王弼撰略例 唐邢璣注略例 清阮元等編校勘記 弘化二年和泉屋善兵衛等刊本 半一二冊

書写者不明の詳密書入あり。印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

易經集註二十卷 宋朱熹撰 江戸期刊本 大一〇冊

金陵書入詳密にあり。

周易拳正 唐郭京撰 江戸期芳野金陵鈔本 半一冊

外題(題簽)「郭京周易拳正」、卷首「欽定四庫全書提要」、印記「逢原／堂印」(白文長方印)。

易童子問 宋歐陽修撰 鈔本 大一冊

外題(表紙打付書)「歐廬陵易童子問」、印記「逢原／堂記」(朱文正方印)。

易学啓蒙四卷 宋朱熹撰 江戸期刊本 大一冊

金陵、世秀書入あり。印記「逢原／堂印」(白文長方印)「芳野／質」(白文正方印)「文／叔」(朱文正方印)又芳野家

所蔵以前の旧蔵者印「寛齋家蔵」(朱文長方印)あり。

誠齋先生易伝二十卷 宋楊万里撰 江戸期鈔本 半四冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

周易玩辞 宋項安世撰 清納蘭性德校 万延元年鈔本(寄合

書) 半四冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)「逢原／堂印」(白文長

方印)。

童溪王先生易伝(卷七至十二) 宋王宗伝 江戸期鈔拋蘭成
徳校訂通志堂経解本 存一冊

外題(表紙打付書)「王氏易伝 二」又「從泰至大壯」、卷
十二末「後学成徳校訂」、印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

周易参義十二卷(存卷一至十) 元梁寅撰 清納蘭成徳校訂

江戸期鈔拋蘭成徳校訂通志堂経解本 半二冊

不明白文正方印一顆。

俞氏易集説 元俞琰撰 清納蘭成徳校訂 芳野金陵他鈔拋蘭
成徳校訂通志堂経解本 存六冊

末「成徳校訂」、印記「逢原/堂印」(白文長方印)「逢原
/堂記」(白文正方印)

周易経翼通解十八卷 伊藤氏(伊藤東涯)学 序至卷四(第

一、二冊) 芳野金陵写本卷五至卷十八(第三至六冊) 安永三年

京都文泉堂刊本 大六冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印) 不明白文正方印一顆、
刊本部(第三至六冊)に「卷/石堂」(白文正方印)。

周易伝義考異〔抄〕〔伊藤長胤〕 江戸期芳野金陵抄録写本

半一冊

外題(表紙打付書)「東涯先生周易伝義考異」、印記「逢原
/堂記」(白文正方印)。

周易註稿 闕名 写本 大二冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)「卷/石堂」(白文正方
印) 他不明朱文長方印一顆。

易学啓蒙筆記〔三宅尚斎〕 慶応二年写本 半一冊

書写識語(末丁裏)「慶応二丙寅孟冬/奉 金陵夫子命写
了/逢原堂塾」、印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

大極図説管見 伊藤氏(東涯)学 享保六年高元■写本 半一

冊

印記「逢原/堂印」(白文長方印)「文/叔」(朱文正方
印)「芳野/質」(白文正方印)。

読易私説・図例 伊藤長胤原藏著 写本 半一冊

印記「逢原/堂印」(白文長方印)。

周易古占法二卷 海保元備学 天保十一年刊本(伝経書屋藏
版) 大二冊

書類

尚書註疏二十卷(存卷一、二) 漢孔安国伝 唐陸德明音義

唐孔穎達疏 日本芥(川) 元澄句読〔安永六年京都風月荘左

衛門等〕 拋明万曆十五年刊本重刊 存大一冊(原一〇冊)

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

尚書十三卷 漢孔安国伝 日本清原宣条校 天明八年京都風月

荘左衛門等刊本 大三冊

金陵、世秀他複数者書人詳密にあり。印記「天／埜」(白文正方印)「逢原／堂印」(白文長方印)。

書經集註十卷 宋蔡沈撰 第一、二冊江戸期刊本、第三、四冊承応二年大島清因刊本(取合本) 半四冊

金陵書入は四冊通してあり。印記(第一、二冊)「逢原／堂記」(白文正方印)、第三、四冊「師靜／印信(師靜信印)」(白文正方印)「祖／觀」(朱文正方印)。

王耕野先生読書管見 元王充耘撰 芳野世秀鈔本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

書經卷詮(佐々木琴台遺著) 源長卿(佐々木仁里／琴台) 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「佐々木琴台遺著」、内題「書經卷詮」、仮綴本。

書經考 闕名 写本 半一冊

外題(題簽)「書經考」、「物茂卿曰」と徂徠引用が散見する他、諸文献引用。印記「逢原／堂記」(白文正方印) 他不明白文瓢筆印。

詩類

毛詩二十卷 漢鄭玄箋 寛延二年京都風月莊左衛門等刊本 大五冊

金陵書人詳密にあり、又他筆書入あり。印記「逢原／堂印」(白文長方印)「芳埜／愿印」(朱文正方印)「叔／恭氏」(白文正方印)。

詩經〔集註〕八卷(卷一至三闕) 宋朱熹集註 江戸初期豊雪齋道伴刊本 大二冊

金陵書人詳密にあり。印記「逢原／堂印」(白文長方印)。
詩經集註十五卷 宋朱熹撰 江戸期刊本 半四冊

金陵書人詳密にあり。

詩經集註十五卷〔宋朱熹撰〕 江戸期刊本 大七冊

世經書人詳密にあり。印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

詩疑 宋王柏撰 清納蘭成德校訂〔西村士礼〕鈔納蘭成德校訂通志堂經解本 大一冊

印記「逢原／堂記」(朱文正方印)。

詩本義十五卷(存卷一至七) 宋歐陽修撰 清納蘭成德校訂谷第佐鈔納蘭成德校訂通志堂經解本 存半二冊(原三冊)

書寫識語「同学友仙台谷第佐／所写」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

詩集伝通釈二十卷 元劉瑾撰 文政十三年刊嘉永三年江戸昌平坂学問所重刊江戸出雲寺万次郎後印本 大八冊

印記「讀杜／艸堂」(朱文正方印、寺田望南蔵書印)「文校／蔵本」(逢原／堂記)(白文正方印)。寺田望南旧蔵書。

毛詩名物図説九卷 清徐鼎輯 文化五年江戸須原屋善五郎堀野

屋儀助刊本 中二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

詩經名物辨解七卷 松岡玄達先生鑑定 江村如圭纂述 享保十

六年京都中井平治郎刊本 半一冊

金陵書入あり。印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

詩經見聞記 闕名 写本 中一冊

外題(表紙打付書)「詩經見聞記」又「慶応元年乙丑四月

／同 同 九月」(世経筆)、内題(巻首)「詩経」。

礼類

周礼問 清毛奇齡撰 芳野世経鈔本 半一冊

外題(表紙打付書)「周礼問目 全」(世経筆)、内題(巻

一卷頭)「周礼問」。逢原堂野紙使用。

周礼四十二卷 漢鄭玄注 唐陸德明音義 寛延二年江戸前川六

左衛門等拠明崇禎十二年十三年東呉金蟠永懷堂刊十三経古注本

重刊 大三冊

金陵他複数者書入あり。印記「荒井／書藏(荒井藏書)」

(朱文長方印)「朝陽館／藏書記」(朱文長方印)。

春秋類

春秋左氏伝 杜氏集解 宝暦五年京都中江久四郎刊本 半一五冊

金陵書入詳密にあり。

春秋註解辨誤二巻補遺一卷古器図一卷 明傳遜撰 延享三年江

戸前川六左衛門刊本 中合一冊

表紙次序第一丁書入「逢原堂」、印記「大藏／図書」(朱文

長方印)「逢原／堂記」(白文正方印)。

左伝附注五巻 明陸燾撰 日本奥村脊猷校 寛政十一年刊文政

八年江戸山城屋佐兵衛印本 半四冊

第一冊末(裏表紙裏)奥書「安政五年歲次戊午孟夏／逢原

堂中社友十数輩／購之人(傍注「季」)不得奪。諸侯不得取。／

苟不得」、卷三末識語「安政五ノ年歲次戊午夏四月／逢原堂

塾友藏」。印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

沈氏左燈 明沈長卿撰 芳野金陵他鈔本 半二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

左伝助字法 皆川淇園論定 明和六年京都河南四郎右衛門等刊

本 半一冊

印記「芳野／彝倫」(白文正方印)。

左伝考三巻 宇土新士朗二先生(宇野士新、宇野士朗)説片

猷(片山北海)輯 寛政四年京都菱屋孫兵衛刊本 半一冊

印記「西原家」(白文長方印)「我獨醒」(朱文長方印)。

七経雕題略(左伝雕題)〔中井履軒〕写本 半三冊

外題 (表紙打付書) 「左伝雕題」、内題 (巻首) 「七経雕題略 / 左氏春秋 据杜氏集解」。

左伝凡例考 (左氏諸例考) 越智尚明輯 文久元年芳野世秀写本 小一冊

外題 (表紙打付書) 「左伝凡例考」、内題 (巻首) 「左氏諸例考」、書写識語 「文久紀元孟秋旬 / 七日写于不如学軒」。

左伝修辞 (芳野南山) 芳野南山自筆本 半一冊

三、芳野家関係資料 (二) 南山重出。

四書類

大学 [古註] 漢鄭玄注 享保十五年京都須原屋平左衛門刊本 半一冊

印記 「逢原 / 堂記」 (白文正方印)。

大学定本 伊東維楨考定 貞享二年跋刊本 大一冊

大学私衡 亀田興 (鵬斎) 天保四年江戸山城屋佐兵衛刊本 大一冊

印記 「教倫 / 館図 / 書章」。教倫館は関宿藩藩校。

大学私衡 亀田興 (鵬斎) 天保四年刊江戸山城屋佐兵衛等後印本 大一冊

大学夷考並問答附録 円山葆著 明治二年排印本 (小彼淇軒蔵) 一冊

大学 闕名注 写本 原稿用紙綴零本。

中庸首章蒙図解附録發蒙十二説 (存附録發蒙十二説) 尾藤二洲 江戸期古風軒木活字印本 半一冊

裏表紙裏識語 「唐津藩山田土栗批点」、又朱筆にて別筆識語あり。表紙書入 「山田寛手沢本」 印記 「山田 / 氏蔵」 (朱文正方印) 「読杜 / 艸堂」 (朱文正方印、寺田望南蔵書印)、他長方印部刪去。寺田望南旧蔵書。

論語十卷 魏何晏集解 日本伊藤東涯校 享保十七年江戸須原屋茂兵衛刊本 大二冊

金陵書入あり、また第一冊末 (裏表紙末) 書入 「明和二歳 / 西八月調」 第二冊末 (裏表紙裏) 「明和二秋乙酉 / 葉月」。

印記 「在 / 明」 (白文正方印) 「子 / 徳」 (朱文正方印) 「逢原 / 堂記」 (白文正方印) 他不明印二顆。

論語徵集覽 魏何晏集解 宋朱熹集註 日本藤 (伊藤) 維楨古義 物茂卿 (荻生徂徠) 徵源 (松平) 頼寛輯 宝暦十年前刊 六左衛門等刊本 大二〇冊

纂標論語集註 宋朱熹集註 日本滝川亀太郎纂標 昭和五年東京金港堂書籍株式会社排印本 一冊

幹一書入詳密にあり。論語意原二卷 宋鄭汝諧撰 江戸期芳野金陵鈔本 半二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

論語古義十卷 伊藤維楨述 江戸中期刊本 大四冊

論語雕題略 (中井履軒) 写本 半二冊

外題(表紙打付書)「論語雕題」(本文別筆)、逢原堂罫紙使用。

論語講義鈔 闕名 芳野金陵写本 半一冊

奥書「庚子夏四月葵園先生没矣、閱／其篋底獲論語講義十卷并／虎文軒孟子中庸說叢二本要／皆屬未定乃鈔數十条以藏之／異曰淘汰欲以伝其可伝者」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

○

孟子七卷 宋朱熹集註 明和三年京都勝村治右衛門刊同後印本 半三冊

複数者書入あり。

孟子注疏校勘記(十三經注疏校勘記初之一) 清阮元校 清阮

元撰附 清盧宣旬摘録 清光緒十三年上海脈望仙館石印本 半

一冊

孟子字義疏證 清戴震撰 江戸期芳野金陵鈔本(途中から他

筆) 大一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

孟子集注大全標釈 紹述先生(伊藤長胤)著 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「四書標釈 孟子」、印記「不亦／遠

乎」(白文長方印)「宮崎／發印」(白文正方印)。

○ [四書集註章句] 宋朱熹撰 明和三年勝村治右衛門刊本 半六

冊

複数者書入あり。

[四書集註章句] (中庸全闕他一部闕) 宋朱熹撰 明和三年京

都勝村治右衛門刊本 半六冊

金陵書入あり。識語「丙午災後購以補之 芳育」他。

[四書集註章句] (学庸集註)・論語集註 宋朱熹撰 江戸期刊本(取合本) 半二冊

世秀書入あり。

[四書集註章句] (孟子全闕他一部闕) 宋朱熹撰 江戸期刊本

(取合本) 半二冊

世經他書入あり。

[学庸集註] 宋朱熹撰 江戸期刊本 半二冊

複数者書入あり。印記「芳野／質」(白文正方印)「文／

叔」(朱文正方印)。

四書問辨録 明高拱撰 江戸期松嶋元熙鈔本 半二冊

外題(表紙打付書)「四書問辨録」、金陵識語「亡友松嶋元

熙所写」(第二冊裏表紙裏)、印記「逢原／堂記」(朱文正方

印)。

四書知新日録〔抄〕 明鄭維岳撰 江戸期芳野金陵抄録写本

半一冊

外題〔表紙打付書〕「四書知新日録」。印記「逢原／堂記」
〔白文正方印〕。

四書集註標釈六卷 (伊藤) 東涯先生著 江戸期写本 半四冊

印記「克／宗」(墨印円印)。

論語集註大全標釈二十卷孟子集註大全標釈 紹述先生(伊藤長

胤)著 写本 存半三冊(原四冊)

印記「逢原／堂記」(白文正方印)「逢原／堂印」(白文長

方印)。

四書訓蒙輯疏二十九卷 安(安部井)襲著 江戸期刊本 半二

八冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

学庸集註(大学集註・中庸集註)〔芳野南山〕 江戸期芳野南

山自筆本 半一冊

三、芳野家関係資料(一) 南山重出。

譚經書余(耕読贅筆) 学庸部・譚經書余(耕読贅筆) 論語

〔芳野金陵〕 学庸部昭和二十年二十一年芳野幹一写本 半四冊

三、芳野家関係資料(二) 金陵重出。

耕読贅筆(大学・中庸)〔芳野金陵〕 写本 半二冊

三、芳野家関係資料(二) 金陵重出。

孝経類

孝経 漢弘安国伝 日本太宰純音 江戸期刊本 半一冊

書入詳密にあり、世経か。

孝経 漢弘安国伝 文政十二年小林新兵衛刊本 大一冊

金陵書入詳密にあり。外題(題簽)「孔伝孝経」、印記「逢

原／堂記」(朱文正方印)。

孝経考 諸葛蠡著 写本 半一冊

孝経發揮〔津坂孝綽〕 文政九年有造館刊本 半一冊

世経識語「慶応乙丑」。印記「邁亭」(白文正方印) 他不明

朱文正方印あり。

孝経 冢田虎註 安永七年江戸小林新兵衛刊本(環堵室蔵版)

中一冊

見返し「冢註孝経」。

諸経総義類

六経輿論 宋鄭樵撰 清納蘭成徳校訂 弘化四年序鈔捫納蘭成

徳校訂通志堂経解本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

熊先生経説七卷 元熊朋来撰 清納蘭成徳校訂 鈔捫納蘭成徳

校訂通志堂経解本 半二冊

外題(題簽)、内表紙「熊朋来経説」、内題(巻首)「熊先

生經說」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

山草堂集 明郝敬撰 明郝洪範輯 明田必成等校 江戸期鈔本
半一冊

外題(表紙打付書)「山草堂談經」、内表紙「譚經周易」、
内題(卷首)「山草堂集／談經卷之一」、印記「逢原／堂印」
(白文長方印)。

九經古義抄 清惠棟撰九經古義 鈔本(寄合書) 半一冊

外題(題簽)「九經古義抄」、内表紙「九經古義抄 毛詩」、
印記「逢原／堂印」(白文長方印)。

經義述聞〔抄〕・經伝釈詞〔抄〕 清王引之撰 江戸期芳野金陵
抄録写本 半一冊

外題(表紙打付書)「經義述聞／經伝釈詞」、内題(卷首)
「經義述聞 左伝上」 印記「逢原／堂記」(朱文正方印)。

相台書塾刊正九經三伝沿革例 宋岳珂撰 吳志忠校 鈔本 半
一冊

外題(表紙打付書)「相台書塾刊正九經三伝沿革例」、書末
「吳県後学吳志忠校刊」、逢原堂罫紙使用。

小学類

虚字註釈備考 清張文炳撰 嘉永四年江戸和泉屋善兵衛等刊本
半一冊

經伝釈詞十卷 清王引之撰 日本東条方庵校点 天保十二年序
江戸須原屋茂兵衛等刊本 中五冊

書末識語「明治己巳仲春」(世経筆)。印記「逢原／堂記」
(白文正方印)。

釈親考一卷統編一卷 伊藤長胤著 安原貞平校 元文元年刊寛
政八年京都林権兵衛重刊本 半二冊

○ 金陵書入あり。印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

康熙字典十二集増補遺備考 清康熙五十五年敕撰 清刊本 小
四〇冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。
康熙字典十二集 清康熙五十五年勅撰〔江戸期〕刊本 小四

○冊
印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

草字彙十二卷 清石梁撰 江戸期出雲寺松栢堂後印本 存半八
冊(原一二冊)

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。
〔掌中刪訂〕韻府一隅 平声之部 清顏懋功輯 明治四年大阪

辻本儀兵衛等銅版本 一帖
鶴峯戊辰(韻鏡注釈書) 闕名 写本 半一冊

仮綴本。

(二) 史部

正史類

史記騰十卷 岡白駒著 宝曆六年京都錢屋三郎兵衛等刊本 半

五冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

陳明卿史記考拔萃 (明陳仁錫撰) 慶応元年芳野世経抄録写本

半一冊

外題(題簽)「陳明卿史記考拔萃 全」、内題(卷首)「陳

明卿史記考抄」、末題「陳明卿史記考拔萃」、書寫識語「慶応

紀元乙丑六月日卒業／逢原堂南窓之下」

史記評林百三十卷 奥田遵校正 明治十三年東京別所平七刊本

半五〇冊

(校註) 史記讀本百三十卷 池田四郎次郎(盧州)著 明治二

十六年至二十九年益友社斎藤次郎排印本 三冊

史記代紳録 闕名 慶応元年芳野世経写本 横一冊

表紙書入「慶応紀元／史記代紳録／夏五之望」(世経筆)。

増補元明史略四卷 後藤世鈞編次 藤原正臣増補 文政元年京

都菱屋孫兵衛刊本 大四冊

世経書入あり。印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

廿二史反爾録 清彭希涑編 黄泉道人補 天保六年京都著屋宗

八等刊本 大三冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

古史類

晏子春秋四卷 明黄之棠校 元文元年大坂植村藤三郎等刊江戸

出雲寺万次郎後印本 大二冊

書末識語「文久元年辛酉九月廿五日」。

晏子春秋四卷 明黄之棠校 元文元年大坂植村藤三郎等刊天保

三年大坂秋田屋太右衛門等補刊本 大二冊

複数者書入あり。

別史類

立齋先生標題解註釈文十八史略七卷(卷一、二闕) 元曾先之

撰 明陳殷音釈 明王逢点校 巖垣彦明標記 文政元年菱屋孫

兵衛印本 存半五冊(原六冊)

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

雜史類

増註国語二十一卷 吳韋昭解 宋宋庠音 日本冢田虎増註 享

和元年京都角田多助矢代仁兵衛刊本（明治八年世経書入）半
八冊

識語「明治八年歲秋九月二十七日閱了／経識」（卷二末）、
印記「本田／廉印」（白文正方印）「居学斎／蔵書記」（朱文
長方印）。

国語考（〔戸〕崎允明哲夫著 慶応三年芳野世経写本 半一冊

書写識語「慶応丁卯地雷復徐夕閱了於茗溪宮／舎」。

国語定本 吳韋昭解 宋宋庠補音 日本泰鼎校 嘉永七年大坂

河内屋源七郎等刊本 大六冊

印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

読国語 闕名 写本 半一冊

外題（表紙打付書）「読国語 周語 魯語」、仮綴本。

戦国策譚概十卷 宋鮑彪校注 元吳師道重校 明張文燿輯 天

保三年京都田中屋專助重印本 中一〇冊

金陵書入あり。印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

靖康伝信録 宋李綱撰 日本中村彝・巖谷修同校 慶応元年近

江中村彝十三松堂刊本 大三冊

印記「逢原／堂記」（白文正方印）「逢原／堂」（朱文円印）。

中興偉略・韃靼考（清馮夢竜撰中興偉略 清王国維撰韃靼考）

文政七年芳野金陵鈔本 半一冊

外題（題簽）「中興偉略 韃靼考」、内題（巻首）「中興偉

略」「韃靼攷」、文政七年金陵奥書あり。印記「逢原／堂記」

（白文正方印）。

揚州十日記・嘉定屠城紀略（八家集） 清王秀楚撰 天保五年

江戸三田屋喜八等刊本 中二冊

書末世経識語「慶応戊辰仲秋」、印記「逢原／堂記」（白文
正方印）。

詔令奏議類

陸宣公奏議 唐陸贄撰 明治期京都田中屋治兵衛等後印本 半

三冊

印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

伝記類

宋八朝名臣言行録輯前集二卷後集二卷 近藤元隆著 文政五

年京都風月庄左衛門等刊本 半四冊

印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

皇明大儒王陽明先生出身靖乱録三卷 明馮夢龍撰 慶応元年岡

村屋庄助刊本 半三冊 印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

地理類

入蜀記六卷 宋陸游撰 寛政六年京都北村四郎兵衛北村太介同刊本 半二冊

印記「芳野」(朱文円印) 他不明朱文正方印一類。

吳船録二卷附四川棧道図説一卷 宋范成大撰 日本松本慎編

寛政六年京都北村四郎兵衛北村太介同刊本 半一冊

印記「朝日／山房」(朱文正方印)「逸見氏藏書」(朱文長

方印)「晚図／翠書／樓記」(晚翠樓図書記)「朱文正方印」。

客杭日記 元郭昇撰 文政元年江戸和泉屋金右衛門等刊本 小

一冊

印記「逢原／堂記」(白文長方印)。

懲毖録四卷 朝鮮柳成龍撰 元禄八年京都大和屋伊兵衛刊本

半四冊

印記「■水図／書之印」(朱文長方印)「高須／藏書／之

記」(朱文正方印)「逢原／堂記」(白文正方印)。

隱峯野史別録 朝鮮安邦俊撰 江戸期鈔本(芳野金陵他寄合

書) 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

甲申日録略抄 朝鮮金玉均撰 鈔本 中一冊

表紙書入「鐵雲山房藏書」。仮綴本。

職官類

牧民忠告二卷 元張養浩撰 嘉永四年重刊本(官版) 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

薛文清公從政名言一卷 明胡纘宗編 寛政十一年刊嘉永四年江

戸出雲寺万次郎重刊本(官版) 半一冊

大明律三十卷条例三卷 明洪武中勅撰 荻生観点 享保七年跋

京都風月荘左衛門刊本 大九冊

金陵書入詳密にあり、又他筆書入あり。印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

書目類

讀書敏求記四卷 清錢曾撰 清乾隆六十年橋李沈氏重訂刊本

大四冊

帙に紙片「先師綾翁所賜 世育」貼付あり、亀田綾瀬所賜

本。印記「逢原／堂記」(白文正方印) 他不明朱文円印一類。

金石類

金石三例・金石例十卷・墓銘挙例四卷・金石要例一卷(存墓銘

挙例卷三、四金石要例一卷) 元潘昂霄金石例 明王行墓銘挙

例 清黃宗羲撰金石要例 清盧見曾編 寛政十一年刊本(官

版) 存半一冊(原四冊)

印記「逢原／堂記」(白文正方印)

史評類

評史心見 明郭大有撰 芳野金陵鈔本(他筆あり) 半二冊

外題(題簽)「誦史心見」、内題(巻首)「評史心見」、印記

「逢原／堂記」(白文正方印)。

(三) 子部

儒家類

荀子〔増註〕二十巻補遺一卷 唐楊倞注 日本片山世璠正編

久保愛増註 土屋型重訂 猪飼彦博著補遺 文政十三年京都葛

西市郎兵衛刊本 半一一冊

世経書入あり。印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

説苑二十巻 漢劉向撰 明程榮校 寛文八年刊瀬尾源兵衛後印本 中五冊

金陵書入あり。印記「逢原／堂記」(白文正方印)「芳野／質」(白文正方印)「巻／石堂」(白文正方印)。

文中子中説十巻補伝一卷 隋王通撰 宋阮逸注 宋司馬光撰補伝 日本深田正純校点 元禄八年修文堂石田鴻鈞刊本 半二冊

印記「■堂／文庫／章」(朱文正方印)「子」(朱文円印)。

貞觀政要十巻 唐吳兢撰 元戈直集論 文政六年紀州帶屋伊兵衛等刊本(南紀学習館蔵版) 六一〇冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

帝範二巻臣軌二巻 唐太宗撰 寛文八年跋林和泉掾刊本 半二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

白鹿洞揭示 宋朱熹撰 江戸期刊本 半一冊

表紙朱筆書入「洞規」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)、仮綴本。

白鹿洞学規 山崎闇齋集註 安政五年江戸岡田屋嘉七刊本 大一冊

金陵書入あり。

白鹿洞学規(集註) 山崎嘉(闇齋)集註 慶安三年序刊本 大一冊

金陵書入詳密にあり。

白鹿洞書院揭示(講義録) 闕名 写本 半一冊
小学即重訂小学纂註 清高愈纂註 日本北条讓校読 文政五年

英平吉等刊本(福山誠之館蔵版) 中四冊
印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

小学纂説八巻 増嶋固元恒著 文政五年序 写本 半六冊
印記「吉澤／文庫」(朱文正方印)「井上／正方」(白文正

方印)。

小学句読集疏 益軒貝原先生鑑定 竹田定直編次 天保九年江
戸和泉屋吉兵衛等刊本 大一二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

吉斎漫録二卷 明吳廷翰撰 明吳国宝編 文化十三年培園鈔本

明万曆二十九年無為吳国寅刊本 半七冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

困知記二卷続二卷附録一卷〔抄〕 明羅欽順撰 江戸期鈔本

(芳野金陵他寄合書) 半一冊

外題(表紙打付書)「羅整庵困知記」、印記「逢原／堂記」

(白文正方印)。

異端辨正 明詹陵撰 江戸前期婦屋仁兵衛刊本 大一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

全謝山先生經史問答十卷 清全祖望撰 鈔本(寄合書、卷六金

陵鈔) 半二冊

表紙書入「易 書 詩 三伝 三礼 論」。

古今積疑抄 清方中履原撰 芳野世経抄録写本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)、逢原堂罫紙使用。

義門讀書記卷五(孟子) 清何焯撰 江戸期鈔本 半一冊

外題(金陵書入)「義門讀書記」又「孟子」、印記「逢原／

堂記」(白文正方印)「鈴木／毅」(白文正方印)「不■己／■

書」(朱文長方印)。

〔家宝〕聯瑾 清石成金撰 日本宗像洋訓点 江戸期刊本 中
一冊

兵家類

七書(存孫子三卷・司馬法三卷・唐太宗李衛公問對六卷・尉繚
子五卷・黄石公三略三卷・闕吳子二卷・六韜六卷) 宋闕名輯

寛永二十年覆慶長十一年徳川家康木活字印本刊 大二冊

魏武帝注孫子三卷 魏曹操注 天保四年刊本(官版・平津館叢

書本) 大一冊

金陵書入あり。印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

孫武子直解三卷(武経直解之一) 明劉寅撰 明張居正增補

明翁鴻業校 江戸期拋明翁鴻業校本重刊 大一冊

金陵書入詳密にあり。印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

孫子合契十三卷 源(佐々木)世元著 写本 中一冊

印記「卷石／堂」(白文正方印) 他不明朱文正方印一類。

孫子評註二卷 吉田松陰 拋原稿影印 中二冊

孫子 吉田松陰注 写本 半一冊

仮綴本。

洪辨百金方 清惠麓酒民撰 玉卮居士訂 鈔本(寄合書) 半

六冊

封面として乾隆五十三年刊本の封面「乾隆戊申年刻一福大

將軍鑑定／洪澗百金方／榕城嘉魚堂藏」を移写する。印記「逢原／堂記」（白文正方印）、仮綴本。

法家類

管子二十四卷首一卷 旧本題唐房玄齡注 明劉績増注 明朱長春通演 明沈鼎新・朱養純同參評 明朱養和楫訂 日本武田欽繇訓点 村瀬栲亭修 宝曆六年刊寛政八年京都林権兵衛等重訂本 半一三冊

見返し「管子全書」、印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

管子補正二卷 猪飼彦博著 寛政十年京都林権兵衛等刊本 半二冊

印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

韓非子識誤二卷（存卷上） 清顧広圻撰 片山格校読（弘化二年）刊本 存半一冊（原二冊）

韓非子二十卷即韓非子全書 日本芥川煥校 寛政七年大坂柏原与左衛門刊本 大五冊

見返し「韓非子全書」、金陵書入あり。印記「卷／石堂」（白文正方印）。

増読韓非子四卷附韓非伝 物双松茂卿（荻生徂徠）読 蒲坂円行方増 享和二年刊本（脩文斎蔵版） 半四冊
韓非子翼讎二十卷 太田方述 文化五年写本 半五冊

書写識語「文化五年閏六月廿二日校閲畢」、印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

韓非子二十卷 日本片山格・朝川麿校読 弘化二年脩道館用全椒呉氏覆乾道本景刊 大五冊

世経書入あり。

韓子解詁二十一卷首一卷末一卷 津田鳳卿邦儀甫述 有賀義鎮等録 嘉永二年河内屋喜兵衛等印本 半一〇冊

印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

医家類

〔素問抄〕 江戸期芳野金陵写本 半一冊

扁鵲公倉列伝割解 膝〔安藤〕惟寅割解 男〔安藤〕正路補考

門人源龍校閲 嘉永六年河内屋喜兵衛等刊同後印本 中二冊

印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

藝術類

明画録八卷 清徐沁撰 江戸後期刊本 中一冊

書末「戊寅一月旬六夕燈下閱了／世棟（円印「世棟」）」。

印記「大先氏／蔵書記」（朱文長方印）「翠／濤」（白文正方印）、仮綴本。

十七帖述 清王弘撰撰 関先民校 文化七年江戸和泉屋庄次郎刊本 中一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

雜家類

墨子十六卷 清畢沅校注 天保六年刊本(經訓堂本) 大五冊

金陵書入あり。外題(題簽)見返し「經訓堂本墨子」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

淮南鴻列解二十一卷 漢劉安撰 漢高誘注 明茅坤評 日本鶴

銅信之訓点 寛文四年刊額田勝兵衛額田正三郎後印本 大六冊

書写者不明書入あり。

呂氏春秋二十六卷 漢高誘注 明宋邦又・明徐益孫同校 江戸期刊本 大四冊

金陵書入あり。

呂氏春秋二十六卷 漢高誘注 明宋邦又・明徐益孫同校 江戸期菱屋孫兵衛後印本 半五冊

世経他複數者書入あり。印記「仲田家蔵」(朱文長方印)。

老学庵筆記十卷 宋陸游撰 江戸期林復斎鈔本(林鷺溪朱点) 半三冊

末識語「己酉季冬廿六夜一涉点朱 鷺溪」、印記「藕漬精舎」(朱文正方印、林復斎蔵書印)。林復斎旧蔵書。識語の鷺

溪は林復斎長男。

蝸笑偶言 明鄭瑗撰 芳野世経鈔本 半一冊
仮綴本。

升庵外集卷二十四周易部卷五十二論文 明楊慎撰 明焦竑編鈔本(卷五十二芳野金陵鈔本) 半一冊

印記「逢原／堂印」(白文長方印)。

升庵外集卷二十六經說部尚書 明楊慎撰 明焦竑編鈔本 半一冊

外題(表紙打付書)「升庵外集 尚書部」、印記「鈴木／毅」(白文正方印)。「逢原／堂記」(白文正方印)。

千百年眼十二卷 明張燧撰 清光緒十四年四明王氏銅板縮刊本 半三冊

芥隱筆記〔抄〕・咳餘叢考〔抄〕 宋龔頤正撰芥隱筆記・清趙翼撰咳餘叢考 芳野金陵・芳野世経抄録写本 中一冊

外題(表紙打付書)「芥隱筆記／咳餘叢考」又「増補名乘字彙 一冊／於此係前 於是係後」(金陵筆)

堅瓠集四集四卷五集四卷七集四卷庚集四卷統集四卷補集六卷餘集四卷 清褚人穫編 清刊本 存小一二冊(原三五冊)

類書類

標題徐狀元補注蒙求校本三卷 唐李瀚撰 宋徐子光注 日本岡

白駒箋註 安政五年京都勝村治右衛門等刊本 大三冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

標題徐狀元補注蒙求三卷 唐李瀚撰 宋徐子光補注 日本服部

元喬校〔明和四年京都梅井藤兵衛等〕刊本 存半一冊(原三冊)

表紙書入「蒙求 下」、印記「逢原／堂印」(白文長方印)。

純正蒙求三卷 元胡炳文撰 文化元年江戸昌平坂學問所刊本 大三冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

新饌類解官様日記故事大全七卷 明張瑞函校 日本鎌田環齋再

校 江戸期大坂象牙屋治郎兵衛等刊本 半三冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

小説家類

李卓吾批点世說新語補二十卷 劉宋劉義慶撰 梁劉孝標注 宋

劉辰翁批 明何良俊增 明王世貞刪定 明王世懋批釈 明李贄

批点 明張文柱校注 日本戸崎允明校 安永八年京都林九兵衛

刊本 大一〇冊

金陵書入あり。印記「逢原／堂記」(白文正方印)「叢

生」(白文正方印)。

世說箋本二十卷 明何良俊撰 日本秦鼎校 文政九年秦氏滄浪

居刊本 半一〇冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

世說蒙求修辭〔芳野南山〕 芳野南山自筆本 半一冊

三、芳野家關係資料(二) 南山重出。

北窓炙輿 宋施德操撰 弘化年間龜田綾瀨鈔本 半一冊

原表紙書入「北窓炙輿錄／讀書齋叢書 泊宅編／嘉慶己未

五月石門顧修校刻」、龜田綾瀨識語あり、文頭に朱文長方印

「学経堂」、末「龜田梓再拜謹識」又印記「龜田梓」(「龜田」

白文「梓」朱文長方印)。

長種穀夫掌記(物理小識抄) (明方以智撰物理小識) 天保十

二年鈔本 半一冊

外題(表紙打付書)「長種穀夫掌記 物理小識」又右傍

「天保十二丑年水無月下澗」。

智囊補二十八卷 明馮夢龍撰 刊本 半二〇冊

排悶録十二卷 清孫洙撰 清刊本 半六冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

雜纂一卷 卷雜纂統一卷 雜纂又統一卷 雜纂三統一卷 雜纂新統一卷 広

雜纂一卷 文瀾齋叢書初輯之一 唐李商隱撰 宋王君玉撰統

宋蘇軾撰又統 明黃允交撰三統 清韋光霽撰新統 清顧祿撰広

雜纂 文久元年序岸田墨江桜刊本 小二冊

封面「文瀾齋袖珍／叢書第初輯／墨江岸田桜校訂」。

道家類

老子道德経古今本攷正一卷附録一卷 魏王弼注 明孫鑛撰

攷正 日本岡正賛訓点併輯附録 享保十七年野田太兵衛刊本

大二冊

金陵書入詳密にあり。題簽「劉向說苑考」、表紙打付書

「老子道德経」、印記「東井文庫」(朱文長方印)「逢原/堂

印」(白文長方印)「逢原/堂記」(白文正方印)。「東井」は

曲直瀬玄朔号。曲直瀬家旧蔵書。

老子集説 渡政輿著 明治四十五年東京渡長五郎排印本 一冊

外題(題簽)見返し「老子集説」、内題(巻首)「老子道德

経」又「渡氏集説」。

冲虚至徳真経八巻即張注列子(存巻五至八) 晋張湛註 唐殷

敬順釈文 寛政三年小川多左衛門等再刻本 存半一冊

印記「河東蔵書」(朱文長方印)「逢原/堂記」(白文正方

印)。

冲虚至徳真経八巻 晋張湛注 唐殷敬順釈文 (延享四年京都

梅村弥右衛門山本平左衛門)覆明世徳堂刊本 半二冊

表紙に世秀により篇名書入あり。印記「河東蔵書」(朱文

長方印)「逢原/堂記」(白文正方印)。

莊子南華真経(中立四子集之一) 晋郭象注 唐陸徳明音義

明万曆七年臨川朱氏刊本 大四冊

「中立四子集」明朱東光・張登雲同輯。世経書人あり。

莊子南華真経十巻(存巻一至三) 晋郭象注 日本服部元喬

(南郭)校 元文四年江戸植村藤三郎京都中野宗左衛門同刊本

存半一冊(原三冊)

金陵書入あり。外題(題簽)「郭注莊子」、印記「逢原/堂

記」(白文正方印)。

〔補義〕莊子因六巻 清林雲銘撰 日本秦鼎校注 寛政八年刊

本 大六冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)「晚翠/館蔵」(白文正

方印)「牧氏蔵/書之記」(朱文変形楕円印)。

莊子修辭 (芳野南山) 芳野南山自筆本 半一冊

三、芳野家関係資料(二) 南山重出。

(四) 子部

楚辞類

楚辞燈四巻 清林雲銘撰 寛政十年大坂川端徳兵衛刊本 半四

冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

楚辞考 甕谷岡松辰君盈著 明治四十三年東京岡松参太郎排印

本 四冊

屈子正音三卷 清方績撰 清光緒六年刊本 半一冊
 印記「相／平」(朱文正方印)「磬」(白文円印)。

別集類

陶淵明文集八卷 晋陶潜撰 日本松崎復校 天保十一年跋刊本
 大二冊

昌黎先生詩集注十一卷 清顧嗣立撰 文政九年刊本(官版)
 大五冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

蘇長公小品 宋蘇軾撰 明王納諫編 明刊本(来青閣藏版)
 半二冊

表紙書入「坡仙小品」(世秀筆)。印記「逢原／堂記」(白
 文正方印)。

放翁先生詩鈔八卷 宋陸游撰 清周之麟・清柴升同輯 日本大
 窪行・山本謹同校 享和元年江戸須原屋伊八須原屋茂兵衛刊本
 大三冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

新板増広附音釈文胡曾詩註三卷 宋胡元質註 江戸初期刊本
 存大二冊(原三冊)

印記「詩仙堂」(朱文長方印、石川丈山藏書印)、石川丈山
 旧藏書。

指南録四卷増文信國公紀年録一卷 宋文天祥撰 安達忠実校点
 明和三年鳥取岩田屋文五郎等刊本 半三冊

印記「芳野」(朱文円印)。

文文山文鈔二卷 宋文天祥撰 江戸期木活字印本 大二冊
 識語「瀨城日下實甫所贈」(第二冊末)。

真山民詩集 宋真山民撰 日本泉沢充・奈良方同校 天保六年
 松響陳人鈔本 大一冊

書末に天保六年松響陳人書写識語あり、「…此書予得之於
 篠沢梅隠読数四不堪感走禿翰自書于／雪文窓下／天保六年乙
 未秋九月上幹 松響陳人小題」。

翠誤閣評選屠赤水先生小品二卷 明屠隆撰 明何倬然選 明陸
 雲龍評 江戸期木活字印本(官版) 大二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

羅念庵文要抄 明羅洪先撰 龜田綾瀨抄録写本 半一冊

外題「表紙打付書」「羅念庵文要抄」、書末識語「恩師綾瀨
 翁手抄 芳野育識」、印記「逢原／堂印」(白文長方印)。

余力録疑四卷 明盧璘撰 鈔本(寄合書) 半一冊

外題「表紙打付書」「盧璘余力録疑」、内題「余力録疑」、

印記「逢原／堂記」(白文長方印)。

壮悔堂文集十一卷遺稿一卷増年譜一卷 清侯方域撰 清賈開宗
 等評点 五世孫侯洵撰年譜 日本内村篤輔校 万延二年大坂河
 内屋茂兵衛等刊本(本衛藏版) 大一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

侯朝宗文抄 (侯朝宗文雋拔書)・他 清侯方域撰 日本宮原煥
編侯朝宗文雋 文久元年竹山慥輔鈔本 半一冊

表紙無し、卷頭「書練貞吉日記後」、途中に扉「侯朝宗文
抄」又「侯朝宗文雋拔書」裏表紙「節義文章」又「文久元年
初夏二日於逢原堂／竹山慥輔写之」。

潜研堂文集卷四 清錢大昕撰 天保十一年〔芳野金陵〕鈔本
半二冊

外題(表紙打付書)「答問易論孟／潜研堂文集」又「尊古
／逢原堂掌記」、内題(卷首)「潜研堂文集卷四」、書寫識語
「天保十一年庚子年仲夏中瀚鈔之」印記「稽古書」(朱文長方
印)「字宗／魯」(朱文正方印)。

總集類

三謝詩 劉宋謝靈運撰 劉宋謝惠連撰 劉宋謝玄暉撰 日本松
崎明復(懽堂)校 江戸期刊本 小一冊

印記「芳野／世秀」(白文正方印)「実／甫」(朱文正方印)。
古文真宝〔後集〕 (元黄堅撰) 中村謙訓点 明治十一年千村

文助刊本 小一冊

〔箋註〕唐詩選八卷 明李攀龍撰 日本戸崎允明箋註 山本信
明校 天明四年江戸小林新兵衛刊本 半八冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

晚唐詩選七卷(卷一、二闕) 明曹学佺原撰 日本館機鈔録
天保七年江戸山城屋新兵衛等刊本 小三冊

印記「逢原／堂記」(白文長方印)。
宋謝疊山唐詩合選 宋謝枋得選注 日本立田誦等校 村山椒校
文久四年刊本(一搦山房蔵版) 中二冊

唐宋八大家文格五卷 明唐荆川撰 日本川西潛士龍編次 文久
三年大坂伊丹屋善兵衛等刊本 半五冊

書末世経書入「慶応丁卯」。印記「逢原／堂記」(白文正方
印)。

增評唐宋八家文讀本三十卷 清沈德潛評点 日本頼襄增評 安
政二年和泉屋金右衛門刊本 半一六冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。
晚邨先生八家古文精選八卷 清呂葆中輯 安政六年昌平坂学問
所刊本(官版) 半三冊

印記「■拳／翔集」(朱文橢円印)「逢原／堂記」(白文正
方印)「芳野」(朱文円印)。

明十家詩選 田辺新之助編選 明治三十四年東京田辺新之助排
印本 一冊

清狂詩抄 吉田松陰先生評 明治二年京都田中屋治兵衛刊本
中一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)「芳野」(朱文円印)。

古文翼(鈔) 清唐德宜編 日本長尾愿鈔 文化九年長尾愿鈔本 半五冊

書写識語「九月十一日畢」(第一冊末)「文化九壬申十月十九日於当直畢」(第二冊末)「文化九壬申之晚冬廿一日畢」(第三冊末)「自文化九壬申之秋八月廿日至于同十二月二十八日全畢」(第四冊末)「壬申之晚冬朔日」(第五冊末)、印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

疊山先生批点文章軌範七卷 宋謝枋得輯 文政元年刊本(官版) 大二冊

印記「容安居」(朱文長方印)

正文文章軌範評林註釈七卷 宋謝枋得撰 明李廷機評訓 日本伊

東龜年(藍田)補訂 寛政三年序刊本 大三冊

金陵書入あり。印記「逢原/堂印」(白文長方印)「卷/石堂」(白文正方印)。

疊山先生批点文章軌範(文章軌範唐詩絶句) 宋謝枋得撰 日

本滝川龜太郎纂標 大正十年東京金港堂株式会社排印本 一冊

続文章軌範読本 山田準・池田四郎次郎著 大正八年東京益友社排印本 一冊

刪訂古今文致 明劉士麟輯 王宇刪補 日本塩谷世弘刪訂 慶應三年江戸須原屋伊八等刊本 中二冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

文体明辨抄 明徐師曾撰 芳野世経鈔本(他筆あり) 半二冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)、逢原堂罫紙使用。

国朝律賦棟金録初刻十二卷 清朱一飛輯 清乾隆五十七年刊本 大四冊

印記「藕潢精舍」(朱文正方印、林復齋藏書印)。林復齋旧藏書。

新鐫增補較正寅幾熊先生尺牘双魚 明熊寅幾輯 承応三年刊本 大二冊

印記「逢原/堂印」(白文長方印)。

詩文評類

帰震川先生論文章体則 明帰有光撰 清帰朝煦校 鈔本 半一冊

仮綴本。

帰震川先生論文章体則 明帰有光撰 清帰朝煦校 元治元年西

駿道遙生鈔本 小一冊

書写識語「元治元年甲子穉夏書于逢原堂/西駿道遙」、印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

初月楼古文緒論 清呉徳旋述 清呂瓊録 慶応二年芳野世経鈔本 半一冊

世経眉注書入あり。外題(表紙打付書)「骨董録」又「古文緒論 江関筆/乞救兵書 文章一偶」、書写識語「慶応丙

寅首春／昨非庵」(裏表紙)

詞曲類

- 鼎鑄陳眉公先生批評西廂記二卷附鼎鑄陳眉公先生蒲東詩 元王
德信撰 明陳繼儒評 清宣統三年上海国学扶輪社石印本 中二
冊
訳本琵琶記 (元高明撰) 天囚居士著 大正二年野田福蔵等排
印本 一冊
国釈元曲選 塩谷温 昭和十四年東京目黒書店排印本 一冊

小説類

- 水滸後伝 雁宕山樵原著 槐南醉史(森槐南・泰二郎)編訳
明治二十八年東京手塚猛昌排印本 一六冊
花影隔簾録 清韓景致撰 日本信夫繁校 鈔本 半一冊
仮綴本。

二、その他邦人著作

(一) 宗教

比撰宗教論 (関不敏(翠雨)) 写本 半一冊

仮綴本。

仏法護国論 月性 安政三年跋刊本 中一冊

修刪阿弥陀經・助字雅(甘雨亭叢書四集之一) 太宰純徳夫著

兵衛等刊本(安中造士館蔵版) 中一冊

整庵先生葬祭私説 中井誠之叔貴甫編 男積善補正積徳校訂

江戸期写本 半一冊

外題(表紙打付書)「葬祭私説」、印記「逢原/堂記」(白

文正方印)。

文正方印)。

(二) 漢学

朱子学派

靖献遺言八卷 浅見安正(綱斎) 江戸期京都風月荘左衛門刊
本 大三冊

世経書入詳密にあり。印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

靖献遺言講義八卷 浅見綱斎 慶応三年京都風月堂庄左衛門等

刊本 中二冊

西銘参考(甘雨亭叢書第二集之一) 浅見安正(綱斎)著 (弘

化三年)刊本 中一冊

茗話二卷 蘭洲五井先生著 長島宜泰校 西村時彦編 明治四十四年大阪西村時彦排印本 一冊

外題(題簽)封面「蘭洲茗話」。

正名緒言二卷附錄一卷 菱實大觀(菱川泰嶺)著 嘉永二年江戸和泉屋善兵衛重刊本 半二冊

印記「小山氏/藏書」(朱文長方印)「田/健」(白文正方印)「襄/山」(朱文正方印)「巖松堂古典部/波多埜扱斯書」(朱文長方印)。

非物氏 平瑜著 寛政五年藤蘿園写本 半一冊

書寫識語「于時寛政五年癸丑季冬二十有二日書之」、印記

「逢原/堂印」(白文長方印)。

愛日樓文三卷愛日樓詩一卷即愛日樓文詩附日光山行記 佐藤一

齋 文政十二年序江戸和泉屋吉兵衛刊本 大四冊

第一冊裏表紙裏書入「檜崎氏藏書」、印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

〔拙堂〕文話・続文話 斎藤謙有終(拙堂)著 文政十三年刊

明治期大阪吉岡平助後印本 半四冊

鐵研齋翰軒書目〔斎藤拙堂〕江戸期木活字印本 半一冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

隔籜論 塩谷世弘著 安政六年快風堂刊本 半一冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

宕陰存稿 塩谷世弘著 明治三年山城屋政吉等刊本 半六冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

宕陰騰稿三卷附錄一卷 内田周平輯録 昭和六年東京谷門精舍排印本 三冊

敬字文不分卷 中村正直著 柳沢信夫編 明治十三年静岡高橋金十郎刊本 小二冊

讀書余滴・睡余漫稿 安井衡(息軒)著 明治三十三年排印本 一冊

古学派

鄒魯大旨二卷 伊藤氏(東涯)学 享保十五年京都奎文館刊本

大二冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

秉燭譚〔伊藤東涯〕写本 半一冊

印記「菅沼/義式/日■」(白文正方印)「桂園/藏書」(朱文正方印)「逢原堂記」(白文正方印)。

經史博論 伊藤長胤著 江戸期芳野金陵写本 半二冊

童子問評釈〔伊藤〕長胤輯 寛保二年京都林権兵衛刊本 大

二冊

盍簪録四卷 伊藤長胤著 江戸期写本 半四冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

古今学変 伊藤長胤著 天保十四年大坂河内屋茂兵衛等刊本

半三冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

間居筆録・復性辨 伊藤長胤著 天明八年跋 写本 半一冊

外題(題簽)「閑居筆録 復性辨 伊藤長胤著」、内題(卷

首)「間居筆録」、「間居筆録」末「安永九年庚子正月廿九日

日本編定全業／善詔天明八年戊申七月十四日謄写句点／全業

弘美 七十六、印記「逢原／堂印」(白文長方印)。

東涯漫筆 伊藤長胤輯 天保十三年写本 半一冊

表紙書入「天保壬寅年十月掌記」。

東涯漫筆・仁齋日札・大極図説管見 伊藤長胤著東涯漫筆 伊

藤維楨著仁齋日札 闕名著大極図説管見 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「東涯漫筆／仁齋日札 大極図説管見」。

桂館野乘・桂館漫筆 原瑜公瑤(双桂)撰 原善公道校 文化

十四年江戸和泉屋庄二郎刊本 大一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

天民遺言二卷増疑語孟字義 並河吾一(天民)著 享保七年江

戸小川彦九郎刊本 存大二冊(原三冊)

印記「逢原／堂印」(白文長方印)「節／斎」(白文正方印)。

○

尚書学・孝経識・孟子識(甘雨亭叢書第四集之一) 徂徠物茂

卿著(嘉永六年)刊本 中一冊

辨名二卷 物茂卿著 江戸期江戸小林新兵衛刊本 大二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

二辨集詁(辨道集詁・辨名集詁)〔芳野南山〕 江戸期芳野南

山自筆本 半一冊

三、芳野家関係資料(二) 南山重出。

六経略説 太宰純著 延享二年嵩山房小林新兵衛刊本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

産語二卷 太宰春台 寛延二年江戸西村源六等刊本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

仁里先生遺書(佐々木) 仁里先生註解 写本 半一冊

外題(題簽)「仁里先生遺書」下部子目「孟子浩然注 象

滴碑銘 詩 詩格」。

折衷・考証学派

平洲先生小語 紀氏(細井平洲／徳民) 大正十一年徳富猪一

郎排印本(成篋堂叢書) 一冊

外題(表紙打付書)「平洲先生小語」、内題(卷首)「小語」。

古学辨疑二卷 富永瀾子源(滄浪)著 猪飼彦博校 天保五年

滄浪亭刊本 大二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印) 他不明朱文正方印一顆。

善身堂一家言(亀田) 鵬斎先生著 文政六年江戸和泉屋莊次

郎刊本 半二冊

印記「逢原／堂記」(白文文正方印)「逢原／堂記」(朱文長方印)。

侯鯖一鱒五卷 鵬齋先生原選 亀田保補輯 江戸期山城屋佐兵衛等刊本 半五冊

印記「逢原／堂記」(白文文正方印)。

仏説摩訶酒仏妙樂経 (亀田鵬齋) 写本 中一冊

外題(表紙打付書)「仏説摩訶酒仏妙樂経」、裏表紙書入「芳野世福」(外題同筆、本文別筆)、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。仮綴本。

酒仏経撮解 闕名 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「酒仏経撮解」、印記「逢原／堂」(朱文田印)、仮綴本。

綾瀬先生手録 (亀田綾瀬) 亀田綾瀬自筆本 半一冊

外題(表紙打付書)「綾瀬先生手録」(金陵筆)、印記「逢原／堂記」(白文文正方印)。

綾瀬漁人代釣録 (亀田綾瀬) 芳野金陵抄録写本 中一冊

外題(表紙打付書)「綾瀬漁人代釣録」又「言鯖」。

析玄 広瀬建子基著 矢上行子生批釈 天保十五年刊本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文文正方印)「蕉雨」(上朱文下白文長方印)。

析玄 広瀬建子基著 矢上行子生批釈 天保十五年刊本写 半

一冊

溟北文彙三卷 円山葆子光著 明治二十二年学古堂刊本 半三冊

印記「逢原／堂記」(白文文正方印)。

三野遺稿 肥田野徹著 明治三十八年東京肥田野行排印本 三冊

○

名疇六卷 皆川愿(淇園)著 天明八年京都武村嘉兵衛等刊本 大六冊

印記「金沢／徳印」(白文文正方印)「金沢／文庫」(朱文文正方印)「尾藤氏／蔵書印」(朱文長方印)「逢原／堂記」(白文文正方印)。

漁村文話 海保元備著 江戸期写本 半一冊

西征快心編 巖垣月洲著 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「西征快心編 巖垣月洲著」又「杉浦天台所与」。

その他

脩静庵遺稿 蒲生君平 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「脩静庵遺稿」、扉「修静蒲生先生遺稿」、書末に書写識語「辛酉之孟冬、仲六日終業」あり。

- 迪彝篇 会沢安 天保十四年刊本(時雍館蔵版) 半一冊
印記「芳野／氏記」(朱文正方印)。
- 下学邇言七卷 会沢安 江戸後期刊本(清岡殿蔵版) 大三冊
下学邇言七卷附録一卷 会沢安述 明治二十五年会沢善排印本
中一冊
印記「芳野／氏記」(朱文正方印)。
- 豈好辨 会沢正志斎 江戸期玉巖堂刊本 大一冊
印記「逢原／堂記」(白文正方印)。
- 閑聖漫録 会沢安述 文久三年水戸須原屋安治郎等刊本 半一冊
印記「江藤文庫」(朱文長方印)。
- 正志齋稽古雜録 会沢安述 慶応三年水戸須原屋安治郎等刊本
半一冊
印記「塚田蔵／之記」(朱文長方印)「年々／歳式／牀書」
(朱文正方印)「古／川」(朱文円印)。
- 留魂録・風簷遺草 吉田松陰著留魂録 楫取素彦著風簷遺草
明治元年京都田中屋治兵衛等刊本(松下村塾蔵版) 中一冊
印記「逢原／堂記」(白文正方印)。
- 松陰雜著 (吉田松陰) 刊本 小一冊
- 古松終隠先生隨筆 古松終隠 明治十七年鈴村讓写本 半一冊
書末明治十七年鈴村讓書写識語「明治十七年書於東京芝区
公園内水野氏之寓居／其原本土州知友嶋村白浦之所手写誤字
- 脱字不少故有難／解句姑依其旧写之将他日得完書正之／南予
宇和嶋鈴村讓実侯氏誌」、外題(表紙打付書)「終隠隨筆」又
「古松氏著」。仮綴本。
- 映巒余課 長田巖寛 明治十九年跋 写本 中一冊
殉列余響 河本一遺草 丸山鎮編輯 明治二十二年新潟丸山拳
石(鎮)排印本 一冊
印記「逢原／堂記」(白文正方印)。
- 諸子大意 萩原裕(西疇)著 明治三十五年東京益友社排印本
一冊
- 蓼水五十年忌辰旧懷稿 松田直人編 明治四十一年松田直人排
印本 一冊
- 節齋遺稿附節齋森田先生行状書 森田益謙蔵著遺稿 片山重範
印本 一冊
- 著行状書 明治四十三年奈良辻万三排印本 一冊
- 徂徠学の話・仁齋学の話 島田重礼著徂徠学の話 三島中洲
著仁齋学の話 排印本 一冊
- 白提庵遺稿 山本修 昭和十二年山本修排印本 一冊
- (三) 漢詩文
- 詩文評・作詩法

習文録三編二卷 皆川淇園 寛政十年刊明治九年藤井孫兵衛印本 半二冊

習文録四編二卷〔皆川淇園〕 江戸期京都河南儀兵衛刊本 半二冊

印記「芳野／蔵書」(朱文正方印)。

習文録二卷〔皆川淇園〕 江戸期刊本 半一冊(原二冊)

増訂習文録甲乙判二卷 皆川愿伯恭著 寛政十年刊明治九年藤井孫兵衛印本 半二冊

翠雨軒詩話 山田信義郷(翠雨)輯 芳野世経写本 半一冊

逢原堂野紙使用。

文翰拋依〔抄〕 冢遜退翁(犬塚印南)纂輯 写本 半一冊

外題(題簽) 末題「文翰拋依抄」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

詩吟聞録 闕名 江戸期写本 横長合一冊(原裝二冊)

原裝第一冊卷首「詩吟聞録」原裝第二冊外題(表紙打付書)「聞見一詩集」、旧蔵者識語「安政三／年之丙／辰／仲夏

下／句書之 越州小臣／克省軒誠道 松田知孝蔵」(原裝第

一冊裏表紙)「安政四丁巳歳／十一月十二日／松田誠治／郎蔵」(原裝第二冊裏表紙裏)、印記「松田蔵／書印」(朱文長

方印)他。

詩轍六卷 三浦晋安貞著 喬稚嶽彦駿閱 文政十一年大坂加賀

屋善蔵刊本 大六冊

新訂掌中詩韻箋 (大窪) 詩仏原輯 (安部井) 樸堂訂補 嘉永七年京都勝村治右衛門刊本 折一帖

印記「芳野／世秀」(白文正方印)「実／甫」(朱文正方印) 大小二顆

唐音提要 秀野人 文久二年跋写本 半一冊

跋末「文久壬戌立秋節 秀野人手記」、仮綴本。

作文長短離合句法 闕名 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「作文長短離合句法」、仮綴本。

作品集

琴台詩稿 源長卿(佐々木仁里)著 写本 半一冊

外題(表紙打付書題簽)「佐琴台遺稿」、仮綴本。

静寄軒文集十二卷(存卷一至七) 尾藤二洲 天保年間江戸中

西忠蔵木活字印本 大三冊

版心上部(柱刻)に「拙修齋叢書」とあり。拙修齋叢書は、天保期に江戸の儒者中西忠蔵(名邦基、号伯基)によつて刊行された木活字本の叢書。

懽堂全集二十八卷 松崎復明復著 写本 半一七冊

印記「芳野／氏記」(朱文正方印)、仮綴本。

修静庵遺稿(有不為齋叢書甲集之一) 蒲生君平著 江戸期刊

本 半一冊

外題 (題簽) 「修静庵遺稿 全」、卷首「有不為齋叢書甲集 / 修静庵遺稿」、「有不為齋叢書」は伊藤之幹編輯。

寒緑小稿 茅根先生 (茅根寒緑) 著 江戸期刊本 小一冊

林園月令八卷二編八卷 館機樞卿 (柳湾) 纂輯 伊沢信厚朴父

參校 天保二年序江戸英大助等刊本 小一六冊

印記「逢原 / 堂記」(白文正方印)。

訓点栗山文集六卷 柴野允升・允常同校 三土宣訓点 宮脇伸

次郎編 明治三十九年宮脇伸次郎排印本 (丸亀中学校蔵版)

一冊

見返し「天保十三年 / 栗山文集 / 桐陰書屋鈔板」、表紙に

「有吉蔵書」と書人あり。

回天詩史 藤田彪斌題并録 写本 半一冊

印記「芳野」(朱文円印)。

雲嶺樵響閩集 (香国為政) 石世彝希之著 原廣倉景文校 嘉

永六年序刊本 大一冊

外題 (題簽) 「香国為政」、印記「南朝 / 遺民」(白文正方

印) 「芳野 / 世秀」(白文正方印) 「実 / 甫」(朱文正方印)

「蕉一雨」(上朱文下白文長方印)。

雪鴻紀踪附浮槎存稿 田口文之文蔵 安政三年序聯腋書院木活

字印本 半一冊

印記「芳野 / 世秀」(白文正方印) 「実 / 甫」(朱文正方

印) 「蕉雨」(上朱文下白文長方印) 「世棟」(朱文円印)。

忠芬義芳詩卷二卷 河原寛士栗輯 土井有恪士恭校 安政六年

大坂河内屋正助等刊本 半二冊

至誠堂百詠埒和歌百首 荆山日尾瑜徳光著 日尾敬輯 万延元

年刊本 半一冊

春雲遺稿 越智通桓著 文久三年刊本 (渋沢青淵蔵版) 半一

冊

印記「逢原 / 堂記」(白文正方印)。

正気歌 藤田東湖・吉田松陰・文天祥 元治元年写本 半一冊

外題 (表紙打付書) 「正気歌」下部に「三」とあり。書写

識語「元治元年甲子初夏 / 西海 玉碎生書」(裏表紙)、仮綴

本。

鶴梁文鈔十卷 林長孺 (著) 塩谷世弘拜批 森田益妄批 慶

応三年刊本 中一冊

裏表紙裏識語「明治四年重光協洽仲呂朔購得」又別筆「野

口氏」(朱文長方印) 「埜口氏 / 蔵書印」、印記「芳野 / 氏

記」(朱文正方印)。

杞憂庵五十六字詩埒杞憂余草 前建仁天章英禪師著 慈哲・慈

俶同録 慶応四年護国扶宗室刊本 半一冊

印記「晴耕雨 / 読邨舎」(朱文変形楕円印) 他不明朱文正

方印一顆。

江月齋稿・投獄集 日下実甫著 江月齋稿 江月齋稿 慶応四

年大坂河内屋吉兵衛等刊本 投獄集 明治元年同刊本 小合一冊（原裝二冊）

印記「芳野」（朱文円印）。

鶴梁文鈔統編 鶴梁先生（林長孺）著 林圭次編 芳村正秉校

明治十三年東京林圭次刊本 半二冊

印記「芳林氏／所藏図／書之章」（朱文正方印）「芳林」

（朱文円印）「木間瀨氏／所藏図書」（朱文長方印）「芳野／氏

記」（朱文正方印）。

棧雲峽雨日記二卷附棧雲峽雨詩草（日記卷下闕） 井井居士竹

添光鴻漸卿 明治十二年東京野口愛刊本 存中二冊（原三冊）

学孔堂遺文二卷 鶯谷龜田保著（龜田）英編次 明治十六年

東京龜田英排印本 二冊

外題（題簽）「学孔堂遺文」又「鶯谷龜田保著 男英編

次」書末世經書人「龜田英氏所贈／明治二十二年一月廿七

日／經」。

〔諸名家文選〕 明治期写本 半一冊

塩松勝概 岡千仞撰著 岡濯編纂 明治二十五年岡千仞刊本

中二冊

識語「富田知府所與／明治壬辰十月初二」 経誌白文（円

印「世／経」、印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

蓼水存稿 松田直人編 明治二十七年東京白井光太郎排印本

一冊

逍遙遺稿正編外編 中野重太郎著 宮本正貫・小柳司氣太同編

明治二十八年東京不破信一郎排印本 一冊

表紙裏書人「逍遙遺稿二卷／佐竹文学士所贈／庚子之秋、

印記「伊沢／藏書」（朱文長方印）

逍遙遺稿正編外編 中野重太郎 写本 半一冊

陶園詩稿 闕名 写本 小一冊

外題（表紙打付書）「陶園詩稿」又「自己卯至戊子、子目

「庚戌詩稿」「辛巳詩草」「壬午詩草」「癸未詩稿」「甲申詩

草」「乙酉詩稿（詩草）」「丁亥詩稿」「戊子詩艸」、印記「士

礼」（墨文長方印）「信立」（朱文長方印）「信／立」（白文正

方印）「士／礼」（朱文正方印）「陶園」（白文長方印）「学半

堂」（朱文長方印）他不明墨文円印一顆。

三山詩存（池辺三山） 写本 半一冊

仮綴本。

薇山遺稿 西毅一 大正三年序排印本 二冊

野詩 闕名 写本 半一冊

外題（表紙打付書）「野詩 二十五首」又「伏乞 萬鈞正

斧」、仮綴本。

歷代国歌 闕名 西海玉碎生写本 中一冊

裏表紙書人「西海 玉碎生」、仮綴本。

〔詩集〕 闕名 写本 原稿用紙綴一冊

外題（表紙打付書）「詩集」、世經書人「東台之南在小丘一

社曰湯嶋天神」(裏表紙裏)

〔雜抄・詩稿〕 闕名 写本 中一冊

題簽「□□開雪」(上二字虫損)

節山先生詩文鈔 内田泉編 昭和三十二年塩谷節山先生八十寿

賀記念会排印本 一冊

(四) 言語

和語

国字攷 伊呂波釈文 (亀田) 鵬齋老人興撰 文政六年江戸和

泉屋庄二郎等刊本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

詞直路二卷 山田直温輯 久米千寿校 嘉永五年序天保十一年

凡例刊玉屋久五郎等後印本 中二冊

書末世経識語「慶応乙丑」(朱筆)。

漢語

漢字・語彙

四声解環 臯門先生訳註 文化元年江戸林伊兵衛等刊本 極小

一冊

書末世経識語「明治庚午冬十月」(逢原堂蔵)。

四声正韻字林大全 山崎久作補校 嘉永四年和泉屋市兵衛刊江

戸丁子屋平兵衛等後印本 横一冊

書末世経識語「明治己巳晚春」(朱文円印「芳野」朱文円印

「逢原／堂」)、印記「逢原／堂記」(白文正方印)「晴耕雨／

読邨舎」(朱文変形楕円印)。

四書字引 闕名 天保七年江戸山田佐助刊本 横長一冊

雜字類編七卷 柴貞穀小輔重修 辻言恭子礼校字 天明三年京

都依屋清兵衛等刊本 半二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

雜字類編七卷 柴貞穀小輔重修 辻言恭子礼校字 天明三年京

都依屋清兵衛等刊大坂河内屋喜兵衛等後印本 半二冊

第一冊末に天明三年奥付あり。印記「平井／蔵書」(朱文

正方印)「逢原／堂記」(白文正方印)。

増補名乗字彙 養鷲樵夫 安政三年江戸英文蔵刊本 半一冊

金陵書入あり。書末世経識語「慶応乙丑」、印記「過亭」

(白文正方印)。

徒杠字彙 謙受卿(金内格三／雲窓)著 安政七年江戸英文蔵

等刊本 半四冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

事物異名類編七卷 荒井公履叔礼編次 文久元年江戸英文蔵等

刊本 半二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

半二冊

増補訂正掌中熟字韻箋大成 沢渡素軒 慶応三年跋京都勝村治

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

右衛門等銅版本(李溪堂藏版) 折一帖

続虚字解二卷 皆川淇園先生註釈 寛政四年江戸浅井庄右衛門

印記「芳／野」(朱文円印)。

等刊本 小二冊

小説字纂三卷 闕名 写本 半三冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

題簽「小説字纂 上」、内題無し、印記「逢原／堂記」(白

助語審象二卷(存卷下) 橘園三宅先生口授 釈海定等筆録

文正方印)。

文化十四年名古屋永楽屋東四郎等刊京都菱屋孫兵衛後印本 存

画引小説字彙 秋水園主人輯 明治期大坂大野木市兵衛後印本

半一冊(原二冊)

小一冊

刊謬正俗 伊藤長胤原藏著 写本 大一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

外題(表紙打付書)「刊謬正俗」、印記「逢原／堂記」(白

附韻挿註新撰名乗字引 赤沢常道編輯 大正二年東京藤井利八

文正方印)。

銅版本 小一冊

操觚字訣(伊藤) 東涯先生創草 伊藤善韶纂著 写本 半三

冊

語学・語法

原／堂記」(白文正方印)。「河本／筑水」(朱文正方印)「逢

原／堂記」(白文正方印)。

新刊校正用字格三卷 伊藤長胤輯 享保十九年刊寛政四年再刻

称谓私言(尾藤二洲) 江戸期木活字印本 大一冊

京都林芳兵衛後印本 半一冊

称谓私言 尾藤孝肇 写本 大一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

代紳録 闕名(芳野世秀) 写本 半一冊

新刊校正用字格三卷 伊藤長胤輯 享保十九年刊寛政四年再刻

外題(表紙打付書)「代紳録」、仮綴本。

京都林権兵衛後印本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

(五) 文学

用字格辨正三卷 井狩総季羣甫著 芳野世経写本(他筆あり)

詩歌

慕景集 源持資(太田道灌) 江戸期写本 半一冊

外題(表紙打付書)「慕景集」、内題(巻首)「暮景集」、書

写識語「丁巳五月念四写」、巻頭に天保十二年金陵識語あり、末「天保辛丑春二月/金陵芳野愿誌」。

古学先生和歌集 [伊藤仁斎] 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「古学先生和歌集」、仮綴本。

明倫歌集十卷 源齐昭 文久二年和泉屋金石衛門刊本 存半四冊(原五冊)

表紙に世経により各冊子目書入あり。印記「逢原/堂記」

(白文正方印)。

詩歌集 [芳野世経] 輯 元治元年芳野世経写本 半一冊

外題(表紙打付書)「詩歌集」又「既耕亦已種/時還読我

書」下部「甲子初冬於不如学軒/東窓下」又「留丹稿」(世経筆)、裏表紙「元治紀元/甲子早冬/忍岡迁人」又「幽谷

佳人」(世経筆)。

四英獄窓/唱和集(一名骨董集)二卷(存巻上) 頼三樹三郎・

伊丹藏人・山田勘解由・高橋大隅守著 古松淵臣校 慶応四年

序刊本 存中一冊

外題(題簽)「四英獄窓 唱和集」(角書「四英獄窓」、見

返し「四英獄窓 唱和集/一名骨董集」(角書「四英獄窓」、

内題(巻首)「四英獄窓 骨董集」(角書「四英獄窓」、印記

「隆峯足立/氏蔵書記」(朱文長方印)。

平野国臣歌集 [平野国臣] 明治二年大阪柏原屋武助刊本 半

一冊

雄魂雜書 闕名 明治三年大阪河内屋吉兵衛等刊本(松下村塾

蔵版) 中一冊

有節録 城兼文輯 明治期京都近江屋卯兵衛等後印本 半一冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

学窓余音 称好塾編 明治三十五年東京称好塾排印本 一冊

外国文学

伊婆菩喻言 闕名 写本 半一冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)「晴耕雨/読邨舎」(朱

文変形楕円印)、逢原堂罫紙使用。

(六) 歴史

増脩補改正和漢年歴箋 闕名 安政二年須原屋茂兵衛刊本 折

一帖

外題(題簽)見返し「掌中新撰年表」、序題「新撰年表」。

掌中新撰年表 [清宮棠陰] 文久年間江戸玉山堂刊本 縦長一

冊

国史略 源朝臣(岩垣)松苗編次 源(岩垣)言忠校 文政九年菱屋孫兵衛等刊本 大五冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

〔日本〕政記抜抄 〔頼山陽〕写本 半一冊

外題(表紙打付書)「政記抜抄」又「乙酉九月 不息齋」、
仮綴本。

纂標日本外史論文箋注 頼襄子声著 池田胤公承(池田四郎次郎)注 大正十二年東京池田典雄排印本 一冊

保建大記 潜鋒栗山愿伯立甫撰 正徳六年京都茨城多左衛門刊
京都小川多左衛門後印本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)「東京大学／図書之印」

「東京大学法理文／学部書庫所蔵」。

海外考證元寇私記 熊沢興(惟興)撰 嘉永元年跋写本 半一冊

嘉永元年金陵序あり。外題(題簽)「元寇私記」、内題(巻首)「海外考證元寇私記」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

征韓偉略五巻 川口長孺著 天保二年西宮弥兵衛等刊本 半五冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)「芳野」(円印)。

正保野史 〔矢野玄道〕 芳野世経写本 半一冊
仮綴本。

三王外記 東武野史訊洋子著 江戸期写本 半一冊

印記「逢原／堂印」(白文長方印)。

続三王外記 東武野史若無子(石井蠡)著 江戸期写本 半一冊

世経書入あり。印記「巻／石堂」(白文正方印)。

江関筆談 〔新井君美(白石) 趙泰億〕 写本 半一冊
仮綴本。

国朝旧章録・除呂録 室直清述 林信篤選 江戸期写本 半一冊

古史逸 源定信 安永八年跋 写本 大一冊

跋末「安永八歳次己亥冬十二月／白河世子源定信」、印記「堀田文庫」(朱文長方印)。

雜長持 闕名 写本 半二冊

外題(題簽)「雜長持 乾」、印記「親／■」(朱文正方印) 他不明朱文長方印一顆。

訳常山紀談十巻 壘谷先生稿本 関口隆正・大塚勝次郎輯 大正五年東京岡松參太郎排印本 一一冊

八楠敵討始末 熊沢惟興 嘉永五年成立写本 半一冊

外題(表紙打付書)「八楠復讐始末完」又「拜経堂蔵」、巻首「八楠敵討始末」、末「嘉永五年壬子十月 熊沢惟興」、印記不明朱文円印一顆。

読聿脩録記(聿修録講義) 闕名 安政五年安原寛艸写本 横

一冊

外題 (題簽) 「聿脩録講義」、扉題「読聿脩録記」又「安原寛艸」、書写識語「余中頃河原田氏の参考を得たり／前に写

たるこの書を読み注釈を／すべしといふ／安政五年夏五月四日天香書宝窓下に識す」(扉)あり。

肥後物語 亀井魯(南冥) 天明元年序 写本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

大和日記 松本謙三郎著 江戸後期松下村塾木活字印本 中一

冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

妙海語 佐治為綱誌 明治九年渡政輿写本 半一冊

書写識語「明治九五月以 金陵先生命贍写渡政輿識」、印

記「逢原／堂記」(白文正方印)。

王政復古義拳録二卷附録一卷 小河一敏著 明治十九年小河忠

夫排印本 一冊

南山踏雲録 伴林六郎光平 明治期京都村上勘兵衛刊本 中一

冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

○

大日本史名称訓 伊能穎則 慶応二年江戸山城屋佐兵衛等刊本

横長一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

史論

古史通 源朝臣君美(新井白石)撰 写本 半二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

国基 紀維貞著 明治期排印本 一冊

印記「桂人／之■」(朱文変形印) 他不明白文正方印一顆。

伝記

近世叢語八卷 角田九華 天保元年大坂加賀屋善三等刊本 大

四冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

続近世叢語八卷 角田九華 弘化二年大坂岡田屋嘉七等刊本

大四冊

印記「梶川」(朱文長方印)。

川角太閣記 無名氏 明治十三年東京我自刊我書屋排印本 二

冊

裏表紙裏世経識語「明治二十一年一月十五日燈下閱了／占

春園主人経」、印記「逢原／堂記」(朱文正方印)。

南龍君遺事(大君言行録)〔真如〕写本 半一冊

「大君言行録」別書名。次掲『紀侯言行録』と本文同一で

あるが、本書には序がない。印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

紀侯言行録（大君言行録）〔真如〕 写本 半一冊

「大君言行録」別書名。印記「逢原／堂記」（白文正方印）

台湾鄭氏紀事三卷 川口長孺編纂 文政十一年序刊本 半三冊

印記「上室／図書」（朱文長方印）「逢原／堂記」（白文正

方印）他不明朱文正方印一類。

銀台遺事四卷 〔高本紫溟編〕 写本 半一冊

仮綴本。

鷹山公遺書・東照公駿府御書 闕名 写本 半一冊

外題（表紙打付書）「東照公駿府御書／鷹山公遺書」、印記

「逢原／堂記」（白文正方印）。

鷹山公遺書 闕名 写本 半三冊

印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

水戸烈公行実 会沢安 明治二年序刊本 中一冊

口碑録 熊沢惟興輯 写本 半一冊

印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

俟采扱録 久阪江月齋識著 刊本（松下邨塾蔵板） 中一冊

印記「芳野」（朱文円印）。

飯田郡造利貞伝 闕名 写本 半一冊

仮綴本。

〔伝記抄〕 頼襄他 写本 半一冊

首「高山彦九郎伝 頼襄」、以下塩谷世弘「蒲生君平伝」
斎藤馨「林子平伝」等伝記抄録、逢原堂野紙使用。

〔伝記〕 闕名 写本 中一冊

印記「芳野」（朱文円印）。

招魂集 柳溪大浦先醒輯 明治二年東京椀屋喜兵衛等刊本 半

一冊

印記「仲林■」（「仲林」朱文下白文長方印）「北陸莽士

／仲林明印」（白文長方印）。

田中方春先生存名趣意書及伝 佐田白茅 〔明治二十年〕成立

写本 半一冊

明治三十七年秋野庸彦加注識語あり。

安井息軒先生 若山甲蔵著 大正二年蔵六書房排印本 一冊

陵墓

山陵志二卷 蒲生秀実 江戸期刊本 大一冊

題簽「山陵志」、首「山陵志 九志二之一」、印記「逢原／

堂記」（白文正方印）。

山陵修理濫觴記 縣信緝 明治十一年芳野世経写本 大一冊

印記「逢原／堂記」（白文正方印）、逢原堂野紙綴。

前王廟陵記二卷 松下見林撰 安永七年京都林芳兵衛等補刊本

半二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

陵墓一覽 諸陵寮 明治三十年諸陵寮排印本 一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

家伝・家譜

北畠秘録 (大島内蔵頭) 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「北畠秘録」、仮綴本。

豊臣秀吉譜三卷 林羅山 明暦四年荒川四郎左衛門刊本 存半

一冊(原三冊)

織田信長譜 林羅山 明暦四年荒川四郎左衛門刊本 半一冊

御家中家譜 闕名 江戸期写本 半五冊(原六冊)

各冊裏表紙裏に「六冊之内／岡本」と書入あり。

(七) 地理

地誌

探蝦論埒北門私議 (横井豊山) 芳野金陵写本(他筆あり)

半三冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

地図

大日本全図之内奥州一円誌 三木光斎 江戸期江戸吉田屋文三

郎刊 一鋪

陸奥出羽国郡行程全図附越後半図 橋本玉蘭斎 江戸期刊 一

鋪

増訂関東八州全図 樗園長山賈 江戸期江戸若林喜兵衛等刊

一鋪

常陸国常州十一国全図 橋本玉蘭斎 江戸期江戸菊屋幸三郎等

刊 一鋪

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

上総国輿地全図 鶴峯彦申 江戸期江戸菊屋幸三郎刊 一鋪

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

常陸下総船路通方略図 元治元年写 一鋪

外題「常陸下総船路通方略図」又「元治元甲子年五月」。

安房国輿地全図 鶴峯彦一郎 江戸期江戸菊屋幸三郎刊 一鋪

相模国輿地全図 鶴峯彦一郎 江戸期江戸菊屋幸三郎等刊 一

鋪

富士見十三州輿地全図 秋山永年 天保十四年刊 一鋪

外題(題簽)「富士見十三州輿地全図」、印記「逢原／堂

記」(白文正方印)。

畿内近州掌覧図 清泉堂緑山作図 慶応二年京都井上治兵衛等

銅版 一鋪

外題「懷宝／銅鑄」幾内近州掌覽図、内題「懷宝銅版幾内近州掌覽図」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

南洋四州掌覽図 清泉堂緑山作図 江戸期清泉堂緑山銅版 一鋪

外題「懷宝／銅鑄」四州掌覽図、内題「銅版幾内掌覽附録南洋四州掌覽図」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

中国兩道掌覽図 清泉堂緑山作図 慶応二年京都井上治兵衛等銅版 一鋪

外題「懷宝／銅鑄」中国兩道掌覽図、内題「懷宝幾内掌覽附録中国兩道掌覽」。

〔東京府地図〕 闕名 明治十二年東京府刊 一鋪
印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

修正市区改正及品海築港略図 闕名 明治期刊 一鋪
朝鮮滿州輿地図 大日本陸地測量部 明治二十七年大日本陸地

測量部 一鋪

(八) 政治・法制・故実

政治

瀛言 (〔荻戸太華〕 文化七年跋 写本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

柳子新論 山県昌貞 芳野世経写本 半一冊

外題(表紙打付書)「柳子新論」、逢原堂野紙使用。

新論 会沢安 江戸期刊本 小一冊

印記「開■」(白文長方印)「東海」(上朱文下白文長方印)。

新論 (会沢正志斎(安)) 嘉永二年渡政輿写本 半一冊

書末書写識語「嘉永二年己酉春二月十一日卒業」又金陵朱筆識語「新論一書門人渡生所写生名興字士礼陸奥八戸人／在予塾十年余後積揭于久保田支封明治元年徒／出羽岩崎」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

照顔録〔抄〕 (吉田松陰) 芳野世秀摘録 写本 半一冊

末に書写識語あり、世秀の摘録について記述。仮綴本。

恢国論 田中万春政均甫撰 明治三十七年秋野庸彦写本 大一冊

外題(表紙打付書)「恢国論」、卷首下「万国形勢大／編年附録」「文化元年甲子」、末書写識語「明治三十七年十一月一日就原本校訂之加朱字了／秋野庸彦」又「田中翁羽前国大山人通称一郎自安永至文政此書成在文化年中」。

海防・外事

極論時事封事・海防臆測 (〔古賀精里〕 著極論時事封事 (〔古賀

伺庵)著極論時事封事 芳野金陵写本 半一冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)「芳野」(朱文円印)。

禦侮儲言 佐藤信淵述 芳野金陵写本 半一冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

禦虜策 田中万春一名政均 明治三十年秋野庸彦写本 半一冊

首「上 禦虜策始末」、末書写識語「右禦虜策/文久三癸亥年/八月廿三日以田中氏所蔵之本写之畢/秋野庸彦」又

「明治三十年十月廿九日/曾所写本使筆再写之而校訂了/秋

野庸彦」。

○

水戸家公韓使往復 闕名 江戸期写本 大一冊

外題(表紙打付書)「水戸家公韓使往復」又墨文長方印

「番外書冊」あり。

阿芙蓉臬聞 (塩谷世弘) 写本 大五冊

波爾杜瓦爾剛使時勢論 折田年秀 明治三年折田年秀自筆本

原稿用紙綴一冊

法制

甲戌封事 闕名 明治八年写本 半一冊

外題(表紙打付書)「甲戌封事」、仮綴本。

郡県儀 三谷退蔵 (芳野世経) 写本 半一冊

末「三谷退蔵再拜」、逢原堂罫紙使用。

服忌令撰注分釈 闕名 写本 半三冊

外題(表紙打付書)「服忌令撰注分釈」。

武家青標紙前後二編 (大野広城編) 江戸期写摺天保十二年刊本 半一冊

卷首下部「天保十二辛丑春新刻」、印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

〔御定書他〕 闕名 (芳野金陵) 写本 小一冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

御布告 闕名 (芳野金陵) 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「御布告」。

官職・官制

制度通十三卷 伊藤長胤輯 寛政八年雄政堂刊本 半一三冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

本朝官制沿革図考六卷 伊藤長胤 写本 半一冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

官職通解 千葉玄之輯 安永四年序刊本 半一冊

金陵書入あり。印記「逢原/堂記」(朱文正方印) 他不明

白文正方印一顆。

武家必覧 闕名 江戸期刊 一冊

改正便覧 闕名 江戸期出雲寺万次郎須原屋茂兵衛刊本 中一冊

外題(題簽)「袖玉抄出改正便覧」、仮綴本。

大東宝鑑 悔遲二橋長輯 明治五年東京北畠茂兵衛銅版 一鋪
外題(題簽)「銅版大東宝鑑」。

故実

弘安礼節 藤原実雄・源師重・藤原為道・清原宗定・中原師勝
江戸期写本 藤原実条写本 半一冊

書末「弘安八年十二月十五日／藤原実雄／源師重／藤原為道／清原宗定／中原師勝」奥書「右全部十二冊之礼節以官本
与清宗尤之家本校合之畢／文禄三年七月下旬／藤原実条／在判」。

草偃和言 会沢安 嘉永五年刊本(常陸静思社長官蔵版) 半一冊

印記「宇野／家印」(朱文正方印)。

武家懷鑑 闕名 江戸期刊本 横長一冊

武家必撃殿居囊 大野広城編 江戸期刊本 縦長折一帖

外題(題簽)「武家必撃／両面折本」殿居囊」。

朱氏談綺三卷 安積覚(澹泊)編 宝永四年序刊本 半六冊
印記「田中氏／蔵書」(朱文長方印)「逢原／堂記」(白文

正方印)。

朱氏談綺三卷 安積覚(澹泊)編 宝永五年京都茨城多左衛門刊本 半四冊

(九) 經濟

社倉私議 中井竹山 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「社倉私議」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)、仮綴本。

田租沿革要記附石高考・大日本租税志正誤 幸田思成著 田租沿革要記 大類久徵稿石高考 写本 大一冊

諸国高附郡名帳 闕名 慶応四年芳野世経他写本 半一冊

外題(表紙打付書)「諸国高附郡名帳」(世経朱筆) 又世経識語「慶応四年閏四月九日／逢原堂」(朱筆)。

本邦度量衡沿革史 闕名 写本 半一冊
外題(表紙打付書)「本邦度量衡沿革史」、仮綴本。

(一〇) 教育

往来物

女消息往来 芳野氏 写本 折一帖

表紙裏に「芳野氏」とあり。

女消息往来 清水まつ 写本 折四帖

各折表紙裏に「清水まつ女」「清水松女」等とあり。

風月往来 芳野福七郎世経写本 折二帖

教育・教訓

鞭駘録 (塩谷岩陰) 芳野世経写本 半一冊

逢原堂野紙使用、仮綴本。

退食間話 会沢安 江戸期刊本 半一冊

見返し裏に「西條殿／御蔵版」朱文正方印あり。印記「芳野／氏記」(朱文正方印)。

旧膳所藩学制 杉浦重文編 杉浦重剛補修 明治三十四年東京

杉浦重剛排印本 一冊

及門遺範 会沢安 嘉永四年刊本 大一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

初学文範 岡松甕谷撰 奥竝継等・野中準編竝評 関口隆正・

大塚勝二郎同校 明治四十四年東京岡松参太郎排印本 一冊

○

南亭余韻五卷 上杉鷹山 写本 半二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

告志篇 (徳川斉昭) 文久元年滝本直次郎写本 半一冊

奥書「天保四年三月癸巳三月廿三日」「天保四年三月癸巳

孟夏松平将監頼信謹識」、書写識語「文久元酉年三月吉日写之／滝本直次郎」、仮綴本。

閑谷読本 白木豊編 昭和九年白木豊排印本 一冊

(一一) 理学

歳華一枝 端庵先生纂輯 星野善行校 文政十一年刊本 中一

冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

算法早合点 闕名 写本 横一冊

外題(表紙打付書)「算法早合点／下書」

烏臼樹種植考証 肥田野徹士朝父 写本 半一冊

仮綴本。

烏臼樹種植考証 肥田野徹士朝父 写本 半一冊

仮綴本。

東京火災論附図表 山川健次郎氏述 沢井廉訳 写本 半一冊

仮綴本。

(一二) 医学

諸薬考 闕名 写本 半一冊

外題（表紙打付書）「諸葉考」。

増補古列刺亜説（古列亜没爾爸斯説・医案一則・病源論（古列羅病源論） 勃微爾著 宇田川菴訳 古列亜没爾爸斯説 金子泰甫著 医案一則 塩谷世弘録 古列羅病源論 写本（寄合書） 半一冊

外題（表紙打付書）「増補古列刺亜説」又「逢原堂蔵」、仮綴本。

古列亜没爾爸斯説 勃微爾著 宇田川菴訳 写本 半一冊

仮綴本。

古列亜没爾爸斯説 闕名 芳野金陵写本 中一冊

外題（表紙打付書）「コレラ病ノ説」、仮綴本。

蕉園漫筆二卷（小島蕉園） 明治六年小熊弘造写本 半二冊

裏表紙書入「尾臺氏蔵」。

小夜時雨 高島久貫 明治期東京高島裕庵（久貫）刊本 中一冊

冊

仮綴本。

（二三）農業

黍稷稻梁辨 亀田興 文政五年江戸和泉屋莊二郎刊本 大一冊

印記「逢原／堂印」（白文长方印）。

農家必用 闕名 写本 半一冊

外題（表紙打付書）「農家必用」、仮綴本。

勸農或問 藤田幽谷 明治八年渡政興写本 大一冊

書写識語「明治八年丁亥盛夏三伏之日写畢於茨城県／僑居東嶋道人輿」（東嶋は渡政興の号）、仮綴本。

（二四）藝術

〔墨本〕 闕名 刊本 大一冊

印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

〔奉贈宣義大師英公〕（墨本） 闕名 刊本 縦長一冊

〔碑録二種〕 闕名 芳野世秀写本 半二冊

外題、内題無し、亀田鵬斎碑文あり。仮綴本。

名判精正録 奥村基忠 享和二年大坂藤屋弥兵衛等刊本 中一冊

冊

金陵書入あり。印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

一越調沙陀調音取 写本 横一冊

（二五）武学・武術

兵要録二十二卷（卷一至四闕） 澹齋長沼氏宗敬著 安藤定虎

等校 嘉永七年刊本 半四冊

世経書入あり。印記「逢原／堂記」（白文正方印）。

握奇八陣集解 長沼宗敬(澹齋)集解 芳野世経写本 半一冊
兵要録卷十七即兵要録陣法 澹齋長沼氏宗敬著 安政五年序刊
本(誠格堂蔵版) 半一冊

印記「逢原/堂記」(白文正方印)。

狸尾随筆 藤堂安貞私記 江戸期写本 中一冊

識語「文久紀元四月廿五日 武藤玄純門人/芳野世福蔵」

(末)「文久元年四月廿五日」(裏表紙)、外題(表紙打付書)

「起倒流狸尾随筆」(世経筆)。

(二六) 雑

雑記

やまかへり 闕名 嘉永六年跋 写本 半一冊

識語「嘉永六癸丑のとし/神無月初五日」、外題(表紙打

付書)「やまかへり」、仮綴本。

進取余編増拾遺 又次漫士 文久三年跋 写本 横長一冊

拾遺末に奥書あり、末「文久癸亥初夏下浣識于江戸玉池寓

居/■逸史録」、仮綴本。

こころのまま 金子与三郎(清邦) 写本 半三冊

第一冊表紙に「こころのまま 金子氏」、裏表紙に「越後

近周太郎所写」、第二冊表紙に「金子与三郎著作」にとあ

り。仮綴本。

文稿 闕名 写本 半二冊

外題(表紙打付書)「文稿」、仮綴本。

雑抄

〔跋抄〕 闕名 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「題跋 蘇長公小品」、仮綴本。

〔雑抄〕 写本 半一冊

仮綴本。

〔雑抄〕 写本 半一冊

仮綴本。

甲酉代紳録 闕名 写本 半二冊

外題(表紙打付書)「甲酉代紳録」又「青箱雑記」、印記

「逢原/堂記」(白文正方印)、仮綴本。

鄙稿 西沢榮 写本 半一冊

外題(表紙打付書)「鄙稿」、首「送稻葉士徳序」、書末

「西沢榮/万鈞正斧」、仮綴本。

〔類書抄〕 闕名 写本 半一冊

〔雑抄〕 (「読文天祥正気歌」他) 写本 半一冊

〔雑抄〕 写本 半三冊

仮綴本。

適意録 闕名 写本 中一冊

外題〔表紙打付書〕「適意録」、印記「芳野」〔朱文円印〕。

〔雑抄〕 写本 半一冊

仮綴本。

柳園漫録 闕名 写本 半一冊

外題〔表紙打付書〕「柳園漫録 第十六」、仮綴本。

三、芳野家関係資料

(一) 南山

左伝修辞 〔芳野南山〕 江戸期芳野南山自筆本 半一冊

印記「卷／石堂」〔白文正方印〕。

学庸集註〔大学集註、中庸集註〕 〔芳野南山〕 江戸期芳野南山自筆本 半一冊

山自筆本 半一冊

版心題〔刷〕「丹方彙編」、印記「卷／石堂」〔白文正方印〕。

世説蒙求修辞 〔芳野南山〕 江戸期芳野南山自筆本 半一冊

版心題〔刷〕「丹方彙編」、印記「卷／石堂」〔白文正方印〕。

莊子修辞 〔芳野南山〕 江戸期芳野南山自筆本 半一冊

印記「卷／石堂」〔白文正方印〕「逢原／堂記」〔白文正方印〕。

二辨集註〔辨道集註、辨名集註〕 〔芳野南山〕 江戸期芳野南山自筆本 半一冊

山自筆本 半一冊

版心題〔刷〕「丹方彙編」、印記「逢原／堂記」〔白文正方印〕

印記「逢原／堂印」〔白文長方印〕「卷／石堂」〔白文正方印〕。

南山先生文 〔芳野南山〕 写本 中一冊

印記「逢原／堂記」〔白文正方印〕。

(二) 金陵

譚經書余〔耕読贅筆〕 学庸部・譚經書余〔耕読贅筆〕 論語

〔芳野金陵〕 学庸部昭和二十年二十一年芳野幹一写本 半四冊

外題〔表紙打付書〕「譚經書余 学庸」又「副本／耕読贅筆

筆経説部／学庸」、内題「耕読贅筆」、書写識語「昭和廿年十

二月六日写了／孫不肖幹一」「昭和廿二年九月十日写了／孫

不肖幹一」

耕読贅筆〔大学・中庸〕 〔芳野金陵〕 写本 半二冊

内題「耕読贅筆」、各冊表紙に「大学」「中庸」とあり。

文稿 芳野金陵 芳野金陵自筆本 半八冊

一部表紙に外題〔表紙打付書〕「文稿」とあり、又各冊冊

次記載あり。印記「逢原／堂記」〔白文正方印〕、仮綴本。

〔金陵文稿〕 芳野金陵 芳野金陵自筆本 半四冊

〔金陵文稿〕 芳野金陵 芳野金陵自筆本 半三冊

第一冊のみ表紙に印記「逢原／堂記」〔白文正方印〕。

芳野金陵文稿 息軒遺文序 芳野金陵 浅田宗伯朱批 写本

一冊

芳野金陵文稿 (紀行文) 芳野金陵 安井息軒・阿万鐵唾朱批
芳野金陵自筆本 一冊

仮綴本。

東帰念日記 芳野金陵 芳野金陵自筆稿本 半一冊

書末「育未定稿」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

東帰念日記 芳野金陵 芳野金陵自筆稿本 半一冊

金陵詩稿 芳野金陵 芳野金陵自筆本 中一冊

〔雜記〕 〔芳野金陵〕 芳野金陵自筆本 中一冊

金陵遺稿十卷 芳野世育著 渡政輿等校 明治二十年逢原堂芳

野世経刊本 半四冊

表紙書入「遺稿」、仮綴本。

譚故書余二卷 (存卷一) 芳野匏宇 (金陵) 明治九年序刊本

中一冊

印記「芳野／蔵書」(朱文正方印)。

遺稿 芳野金陵著 奥田遵・塩谷敏・清水崎校 写本 (明治十

四年校) 半八冊

川田剛 (甕江) 書入あり。仮綴本。

甲戌稿・乙亥稿・丙子稿・丁丑稿 芳野金陵抄録 明治七年八

年十年芳野金陵自筆本 半四冊

仮綴本。

〔雜抄〕 芳野金陵抄録写本 半四冊

仮綴本。

〔金陵雜抄〕 芳野金陵 芳野金陵自筆本 (他筆あり) 半六冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。仮綴本。

管城碩記・説経齋経説・可儀堂文集・冨繁録・東臯雜抄・海国

聞見録・遂初堂文集 徐文靖撰管城碩記、葉鳳毛撰説経齋経

説、兪長城撰可儀堂文集、趙叔向撰冨繁録、陳倫炯撰海国聞見

録、陳倫炯撰遂初堂文集 芳野金陵抄録写本 半一冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

消夏記抄 芳野金陵抄録写本 半一冊

外題 (表紙打付書)「消夏記抄」、『古今詞論』序『江邨消

夏録』序他抄録、一部逢原堂野紙使用、仮綴本。

消夏漫抄 (過庭記談抄、草廬雜談抄、医贖抄、讀書会意抄、梧

窓詩話抄、閑窓雜録抄) 原双桂過庭記談、青木昆陽草廬雜

談、渋井太室讀書会意、多紀元簡医贖、林瑜撰日本大窪詩仏校

梧窓詩話、伊藤明遠閑窓雜録 芳野金陵抄録写本 半一冊

外題 (表紙打付書)「消夏漫抄」又「過庭記聞／草廬雜談

／讀書会意／梧窓詩話／閑窓雜録／医贖」、印記「逢原／堂

記」(白文正方印) 他不明白文正方印一顆、仮綴本。

経義考抄・讀書会意抄・意見録 朱彝尊経義考、渋井太室讀書

会意、井上蘭台意見録 芳野金陵抄録写本 半一冊

外題 (表紙打付書)「経義考抄／讀書会意抄／意見録 秋

風楽章」、仮綴本。

〔雜抄〕 芳野金陵抄録写本 半一冊

〔雜抄〕 芳野金陵抄録写本 半二冊

〔雜抄〕 芳野金陵抄録写本 半二冊

印記「碩果」(白文長方印)。

〔雜抄〕 芳野金陵抄録写本 半一冊

『毛鄭詩考正』『東原集』他雜抄。印記「逢原／堂記」(朱文正方印)。

丙午余燼(通志堂經解抄) 芳野金陵抄録写本 半一冊

表紙書人「丙午余燼 通志堂經解抄」又「詩経従七月至巧

言」、印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

旅窓雜稿 芳野金陵 芳野金陵自筆稿本 中一冊

外題(表紙打付書)「旅窓雜稿」、他書人多数、本文朱筆訂

正あり、仮綴本。

〔雜抄〕 闕名〔芳野金陵〕写本 半一冊

甲戌掌記 闕名〔芳野金陵〕写本 半一冊

外題(表紙打付書)「甲戌掌記」。

焯堂筆抄 闕名 芳野金陵他写本 半一八冊

外題(表紙打付書)「焯堂筆抄」又各冊子目、印記「逢原

／堂記」(白文正方印)「逢原／堂印」(白文長方印)。世秀筆

七言絶句一紙あり。

(三) 復堂

復堂遺稿(乾坤二冊) 芳野長毅伯任著 渡政興子礼等校 安

政四年序刊本 半二冊

題簽「復堂遺稿」、印記「緒経／堂蔵」(朱文正方印)、乾

冊は詩、坤冊は文。

復堂遺稿 芳野長毅伯任著 尾台武子順等校 安政四年識語刊

本 合一冊

世秀書入あり(「迂弟 秀」とあり)。印記「実／甫」(朱

文正方印大小二顆)「芳野／世秀」(白文正方印大小二顆)

「南朝／遺民」(白文正方印)「樗／堂」(白文正方印)。

復堂遺稿 芳野長毅伯任著 渡政興等校 安政四年序刊本 半

二冊

印記「逢原／堂記」(白文正方印)。

(四) 世秀(桜陰・世行)

桜陰遺稿 芳野世行著 写本 半三冊

仮綴本。

桜陰遺稿五卷 芳野世行著 明治十一年芳野世経刊本 中三冊

逢原堂文稿〔芳野世秀〕 芳野世秀自筆本(他筆あり) 半一

冊

外題(表紙打付書)「逢原堂文稿」、逢原堂野紙使用。

〔詩稿〕 芳野世秀 芳野世秀自筆本 中一冊

〔雜抄〕 芳野世秀抄録写本 中一冊

〔雜抄〕 芳野世秀抄録写本 縦長一冊

(五) 世経 (世福)

耕読日記 芳野世経 芳野世経自筆本 半一冊

外題 (表紙打付書) 「耕読日記」、裏表紙「晴耕雨読村舎」、逢原堂罫紙使用。

文稿 芳野世福 (世経) 芳野世福自筆本 中一冊

芳野世経文稿 金陵先生行実 芳野世経 芳野世経自筆本 一冊

反故裏二十九枚 墨付四丁。

詩文未定稿 芳野世福 (世経) 文久三年至元治元年芳野世福自筆稿本 半二冊

外題 (表紙打付書) 「未定稿」又「玉斧 伏乞」、又「癸亥稿」「芳野世福九拜」(第一冊)「甲子稿」「芳野世福再拜」

(第二冊)、内題「詩文未定稿」、識語「文久三癸亥年春正月初元治紀元甲子夏四月終」(第一冊)「元治紀元甲子夏五初」

(第二冊)、仮綴本。

〔雜抄〕 「芳野世経」抄録写本 横一冊

(六) その他

組頭詠歌 芳野菅子 安政三年成立写本 中一冊

表紙打付書「組頭詠歌」又「安政三のとし冬」「菅子」、仮綴本。

葵亭遺稿 板橋隆吉 (吉野世棟) 明治二十五年東京金王出版社排印本 一冊 (同本二点)

文書類

一、辞令類

芳野金陵

○呼出状 「明治元年」六月二十九日 鎮台府↓芳野立蔵

○昌平学校二等教授 「明治元年」十二月 行政官↓芳野立蔵

○徴士・昌平学校二等教授の呼出状 「明治元年」十二月 行政官↓本多正訥 (御名)

辰十二月十二日 ↓芳野立蔵

○呼出状 「明治二年」七月二十五日 辨官↓芳野立蔵

○任大学少博士 「明治二年」七月二十七日 従一位行右大臣

藤原實美宣↓源世育

- 任少博士 「明治二年」七月 太政官↓芳野立蔵
 - 呼出状 「明治二年」十月二日 辨官↓芳野大学少博士
 - 叙正七位 「明治二年」十月 太政官↓芳野少博士
 - 呼出状 「明治二年」十月二十日 辨官↓芳野大学少博士
 - 任中博士 「明治二年」十月 太政官↓芳野少博士
 - 呼出状 「明治三年」三月十九日 辨官↓芳野中博士
 - 叙従六位 「明治三年」三月 太政官↓芳野中博士
 - 大学臨幸次第取調 「明治三年」五月 大学↓芳野中博士
 - 呼出状 「明治三年」七月十二日 辨官↓芳野中博士
 - 免本官 「明治三年」七月 太政官↓芳野中博士
 - 呼出状 「明治三年」十二月二十四日 辨官↓芳野立蔵
 - 在職中勉勵ニ付別紙目錄之通被下 「明治三年」十二月 太政官↓芳野立蔵
 - 御用有之東京滞在被仰付置候處被免 「明治三年」十二月 太政官↓芳野立蔵
- 芳野世秀（桜陰）**
- 任彈正臺少巡察 明治三年正月二十七日 従一位守彈正尹藤原道孝宣↓源世行
 - 北海道巡察不及出張 「明治三年」四月二十七日 彈正臺↓芳野少巡察

○呼出状 「明治三年」午九月十九日 彈正臺↓芳野少巡察

○任彈正大疏 明治三年九月二十日 従一位守彈正尹藤原道孝宣↓彈正臺少巡察源世行

二、昌平坂學問所關係文書

- 〔昌平坂學問所日記〕 残本 四十二丁 「文化十年（自三月至十二月）」
- 〔昌平坂學問所日記〕 残本 三十四丁 「文政八年（自三月至十二月）」
- 〔昌平坂學問所日記〕 残本 四十三丁 「天保十年（自四月至十二月）」
- 〔學問所御儒者〕 人数分限高書付仮綴 二丁 慶応三年二月十五日 金陵筆
- 寄宿南樓頭取以下取締之者申上書付并臨時申達書付類 附稽古人より差出候書付類 一冊 百六十九丁 自安政五年至文久二年

寄宿寮生・南樓通學生に関する書付、表紙に「安政五戊 午正月」「御儒者局」とあり

出役稽古人向之儀諸覚 仮綴 二十二丁

文政・天保・弘化・嘉永中の教授方出役および通稽古人に関する書留、表紙に朱筆「五」とあり

〔学問所関係芳野金陵覚書〕 横本一冊 罫紙四十丁 〔幕末〕

課業、試業、教官・学生、詩文会、開版等に関する覚書

官事 譽事 仮綴 三十一丁 〔自文久二年至慶応三年〕 金陵

筆

学問所登庸時からの幕府・学問所関係の公文書控

起請文 一枚 起請文前書 五枚 〔幕末〕

御儒者が提出する起請文の雛形

御番方部屋住内試一件 仮綴 二十三丁 自天保十一年至十二

年

表紙に「戊七月三日請書済」、朱書「十二」とあり

〔学問所吟味の出題短冊 易上経泰卦〕 一枚 〔幕末〕

〔経科後場題〕とあり、表面に薬方、裏面に書名の書付

あり

御番方部屋住学問考試一件 下 仮綴 五十六丁 自天保十四

年至嘉永五年

学問吟味の記録 表紙に「請書出来」、朱書「十二」と

あり

学問所書生寮書生共学問試業之儀二付申上 草稿 仮綴 二丁

〔幕末〕

戊午春秋試品等 寄宿・南楼・北楼 仮綴 一冊 罫紙十丁

安政五年

寄宿者三十一人、南楼八十五人、北楼十五人の春秋考試

の品等記録、「掛り立軒先生 信太郎・孝太郎調」とあ

り 壬戌長崎考試品等簿・壬戌佐渡考試品等簿 仮綴 四丁 文久

二年

長崎学問所二十六人、佐渡学問所十人の考試の品等記

録

〔学問所諸褒賞記録〕 仮綴 八十五丁 自文政六年至天保四

年

考試褒賜・教授方出役褒詞・出精褒詞等の記録

書生寮規定 仮綴 六丁 〔天保十四年十月〕

天保十四年に改正された規定、表紙に「儒者衆」、末に

「卯十月」とあり

書生寮規定 仮綴 七丁 天保十四年

天保十四年に改正された規定

書生寮式例 仮綴 二十一丁 〔幕末〕

昌平學書生寮学規 仮綴 十三丁 文久慶応中

定・近火之節心得覚・内規定・入寮之節請人同道持参之

証文、表紙に「山本龍次郎手扣」とあり

〔御書籍拝借規則〕 仮綴 五丁 〔幕末〕

書生会業勤怠簿 仮綴 十二丁 末に一丁貼付 慶應三年

諸藩から書生寮に遊学した書生二十三人の勤怠記録、表

紙に「慶応三年正月より十二月迄」「島村孝司」とあり

学生御引立方之儀二付奉申上候書付 仮綴 四丁 「幕末」

教授方出役・教授方手伝出役・寄宿頭取を素読所句読師として当直させるよう願出

〔学問所課業出精記録〕 残本 墨付五十六丁 自天保十四至嘉永六年 前欵

御座敷講釈・北楼二階稽古・仰高門日講・会業等各種課業における出精・褒賞の記録

〔通稽古人氏名〕 一枚 「天保十三年」

徒目付星野金吾を荒井忠次郎より申請時の紙片

服忌届 福王源十郎 一枚 「幕末」

母方従弟小川保太郎死去による服忌届 「辰七月」とあり

〔書生寮入寮願書の草稿〕 二丁

芳野立蔵門人一瀬長蔵の入寮願書の草稿

奥村季五郎宛 芳野金陵書状 控 「安政末〜万延」 九月二十日付

幕臣奥村季五郎（天保・弘化中より仰向門日講代講や南楼世話心得、安政中に函館奉行組頭）が学問所教官を拝命した際の祝い

〔学政更張建白書〕 仮綴 二十六丁 慶応四年正月

建白書、および修業次第規則・諸會業学科概略・當時学科諸會業稽古仕訳・諸試業

〔学政更張建白書草稿〕 仮綴 十九丁 「慶応四年正月」

学政振興建白書のうち諸會業学科概略・當時学科諸會業
其外稽古仕訳・諸試業の草稿、表紙に「三」「舎長江相渡」、また朱筆で「了」とあり

〔学政更張建白書草稿〕 残本 十六丁 「慶応四年頃」

学政振興建白書のうち諸會業学科概略の草稿前欵、存自
第四丁至第十九丁

〔学政更張建白書草稿〕 仮綴 四丁 「慶応四年頃」

諸會業学科概略の前稿にあたる学科総目

〔東照宮誕辰祝文〕 仮綴 二十丁 天保十三年

林訖・林燿・古賀煜・成島司直・成島讓・野村温・杉原直養・佐藤坦・友野喚・季文・湖南・依田利用・増島固による献上の詩歌文

祭典 仮綴 罫紙九丁 「幕末」 祖先および孔孟への祭祀の書

留

〔献詞雛形〕（奉称賀詞） 六枚 慶応三年二月二十八日（丁卯二月廿八日宣下年賀之献詩書式）

慶喜將軍宣下後に年賀のために献上した賀詞の雛形、無
点本紙・点付本紙・上包等

東照宮御靈屋向之儀二付申上 仮綴 二丁 「明治元年」 金陵

筆

紅葉山と上野の神像・位牌の遷座と祭祀の件

〔大学行幸取調文書〕 仮綴 五冊 〔明治三年〕

式次第、および聴講者詠進の詩歌書式

〔大学学則学規の草稿〕 八丁

三、家塾逢原堂関係文書

門人帳類

執贄録・登門録 罫紙三十丁 弘化三年以前入門者三百十九人、自弘化三年至安政四年六月入門者二百八十八人(自石原安五郎至赤羽叟二)

登門録 罫紙三十八丁 自安政四年八月至明治四年七月入塾者七百三十六人(自大聖寺文亮至堀内義達)

登門録 逢原堂罫紙五丁 自明治四年八月至同五年二月入塾者六十七人(自加藤莞尔至松本航介)

姓名簿第一 仮綴 三十丁 自明治二年四月至同四年九月入塾者百三十三人(自佐山基至鎌田信夫)

照名簿 仮綴 三十五丁 自明治四年四月至同七年五月入塾者百四十七人(自田沼從五位至宇田碩三郎)

塾生照名簿 三十四丁 自明治四年九月至同八年四月入塾者百二十八人(自成瀬久太郎至畑隆太郎)

通学生徒照名簿 仮綴 墨付二十一丁 自明治七年八月至同二

十二年入門者八十六人(自西園寺威丸至小林一郎)

照名簿 五十六丁 自明治八年五月至同十四年一月入塾者百七

十六人(自宮崎璋藏至萩原真平)

学生氏名 仮綴 二十丁 自明治八年九月至同十一年六月寄宿

者四十二人(自滝澤信次郎至飯野豊作)

生徒寄留簿 仮綴 墨付九丁 自明治十三年至同十四年四月寄

宿者二十九人(自滝澤信二郎至星野助三郎)

生徒照名簿 八十三丁 自明治十四年一月至大正三年四月入塾

者二百二十三人(自上野鏗至山本禎男)

塾生増減届書副本第一号 仮綴 三十一丁 明治四年正月十八

日届出六十三人、同二月二十八日届出内塾五十三人・通学十二

人、同三月入退塾者、同四月入退塾者、同五月入退塾者

塾生増減届書副本第二号 仮綴 五十七丁 塾生一等三人・二

等八人・三等十五人・四等二十九人、塾外生徒二等三人・三等

七人・四等二十四人・素読濟七人・素読中六人・等外七人、明

治四年六月十六日届出五十九人、同六月入退塾者、同七月入退

塾者、同八月入退塾者、同九月三日届出三十七人・通学四十八

人、同九月入退塾者、同十月入退塾者

生徒其他諸届書副本第二号 仮綴 四十五丁 明治五年揭示・

学科・塾規則・諸書式・在塾舎、同六年在塾者・出席調書

育英書類四号 仮綴 二十九丁 明治六年出席調書 自明治七

年至同十年入塾者

金陵芳野先生門生名簿 罫紙 八丁 自子爵田沼正至有馬頼篤

華族子弟入門者三十九人

金陵芳野先生門生名簿 罫紙 墨付七丁 大正六年上旬成 自

菊池大麓至末弘威磨 叙爵者学者官吏等著名門人四十三人

〔芳野金陵門人名簿〕 内務省罫紙 十三丁 自子爵田沼正至洪

沢作太郎 著名門人九十二人

金陵先師建碑上梓補助姓名簿 罫紙 十六丁 自明治十三年至

同二十一年 金陵募表建立および金陵遺稿出版の募金者名簿

逢原會姓名簿 罫紙 三十四丁 桜井勉序・天野鎮三郎序・渡

松齋引・渡欽引、自明治十四年十一月第一回至同二十四年十月

第二十一回逢原会出席者名簿

名簿類

〔姓名簿〕 横本 罫紙 三十一丁 自高木正賢至岩田儀平

姓名簿 横本 罫紙 三十九丁 墨付三丁 明治十三年四月

自山崎益至清水純崎

書画帖姓名簿 写本 横一冊

外題（表紙打付書）「書画帖姓名簿」

姓名簿 横本 三十五丁 自足立正聲至桜井勉

課業試業類

〔素読試業記録〕 仮綴 十四丁 明治九年六月 表紙「丙子六

月素読試」

〔講義試業記録〕 仮綴 十四丁 明治九年六月 表紙「丙子六

月講義」

〔訳文試業課題〕 仮綴 十五丁 明治九年六月 表紙「丙子六

月譯文 三十一名」

〔素読訳文試業品等〕 仮綴 十二丁 明治九年六月 表紙「丙

子六月譯文」

試業姓名簿 素読 仮綴 十五丁 明治十年十一月四日

試業姓名簿 講義 仮綴 十五丁 明治十年十二月

その他

逢原堂蔵書目 明治九年写本 半一冊

識語「明治丙子第八月／晴耕雨読舎（朱文長方印「盤桓／

平斯）」（裏表紙）

逢原帖 写本（寄合書） 存一冊

外題（題簽）「逢原帖 乾」。逢原堂門人による寄せ書き。

書画帖姓名簿 写本 横一冊

外題（表紙打付書）「書画帖姓名簿」。

四、その他の文書

小田原衆所領役帳 仮綴 四十五丁 永祿二年成

育英館学制 仮綴 二十二丁 天保十四年成

官職之記 御試之次第 心得書付 書生心得書付

海防愚存(外題 水戸景山公賜閣老福山侯海防策拾ヶ条) 仮綴

虫損 徳川斉昭著

松前より西蝦夷宗谷込家数人別其外取調書付写 仮綴 三十一

丁

対問 仮綴 十九丁 安政三年 塩谷岩陰著

邦君ノ所業 附孫嘉涯三習一弊疏、立政ノ大本・治民ノ

処置 附興讓館贈在坐諸子・松崎慊堂西条賢侯以今茲乙

未春二月賜暇始就其封恭賦格詩一首、体羣臣

檄文 仮綴 八丁 「安政三年頃」

亜墨利加使節申立之趣 仮綴 四十一丁 「安政四年」十月二

十六日・十一月二日

文久時勢纂録 壹 仮綴 三十三丁 文久二年 楽天堂蔵

「清河正明上島津侯書」 仮綴 三丁 清河八郎著 文久二年初

夏

「文久中書留」(外題 新聞帛) 仮綴 四十六丁 自文久二年至

三年

大和称兵概略 仮綴 四丁 文久三年 芳野世経写

「池田慶徳上書」 仮綴 六丁 元治元年正月十日

「元治元年九月水戸墙又三郎建白書」(上大樹公殿下書) 七枚

芳野世経写 逢原堂野紙

紀邸達書写 三枚 「慶応三年」十一月三日・四日

「外国関係聞書」 仮綴 七十二丁 「幕末」

「元治慶応中書留」 仮綴 百二十一丁

「慶応四年自正月至四月書留」(外題 辰四月新報) 仮綴 百

八丁

「慶応四年幕臣処分に関する書留」 仮綴 十五丁

逢原堂野紙及び学訓堂聚珍版宋元通鑑零葉裏面に記す

「藩校諸制」 仮綴 十四丁 「幕末」

上ノ山藩政改革大略 仮綴 十五丁 「明治初年」

祭文 仮綴 二丁 芳野桜陰写

「明治元・二年学校関係」布告 仮綴 十二丁

「雑録」野紙 十七丁 明治初年 芳野金陵筆

諸願書下案ほか

「岡山県杉山岩三郎集議院建白書」 仮綴 四丁 「明治五年」

「鹿児島県和田八之進集議院建白書」(外題 和田八之進上書)

仮綴 二十九丁 「明治五年」

「芳野世経貫続替願書」 三枚 明治七年一月廿四日 千葉県令

柴原和宛 芳野世経写

〔金陵遺稿〕原稿板下出納記 横帖 十丁

〔金陵〕遺稿上梓雜費簿 横帖 八丁 明治十一年三月

〔狩野深藏・中村敬宇時務策草稿〕 仮綴 十七丁 塩谷岩陰朱

批

五 書画

軸装

双幅拓本「忠孝」 文天祥書

拓本「天地 嘉曆二五月初三日 備後三郎高德」 児島高德

青木昆陽宛伊藤東涯書翰（伊藤元藏長以下青木文蔵）

山水図「丙申九月十二日病無聊寫於日本橋居僑燈下」 井上金

峨（金峩井純卿） 画賛

漢詩四行書「左手持蟹螯」 亀田鵬斎（非寶道人書）

漢詩四行書「有樂且須樂」 亀田鵬斎（鵬斎老人書）

岡田寒泉古賀精里墓表拓本「故博士寒泉岡田先生之墓」「精里

古賀先生之墓」

尾藤二洲室鳩巢柴野栗山墓表拓本「江戸故掌教官二洲尾藤先生

墓」「鳩巢室先生之墓」「征夷府故伴讀栗山柴先生之墓」

和歌懷紙「九月十三日墓前五十五首」 高山彦九郎（高山正之）

漢詩三行書「浮雲不共此山富」 大窪詩佛（江山翁）

亀田綾瀬墓表拓本「綾瀬亀田先生之墓」

漢詩六行書「送芳野金陵從田中侯之駿河」 亀田陵瀬（亀田梓

書）

漢詩四行書「録絶句二首」 亀田綾瀬（綾瀬老漁亀田梓）

漢詩三行書「十年山館始圍墻」 亀田綾瀬（綾瀬亀田梓書）

漢詩六行書「松本寒緑碑下作」 佐田竹水（竹水道草）

漢詩二行書「黒雲頽自碧」 野田笛浦（笛浦小史）

漢詩八行書「墨水春遊十首録首尾」 臺山人

葡萄図 王瑾画賛（鷺湖折脚仙九十一歲天龍王瑾併題）

漢詩三行書「臘梅」 尾藤水竹（水竹）

漢詩文九行書「生日我受賀賦詩以述懷即引」 梁川星巖（明星

巖山逸民梁孟緯具稿於鴨涯小寓）

松竹図「高松清風」 浅野梅堂（蔣潭蝦侶）

对聯 塩谷岩陰（岩陰山人）

「山高月小是君子之風丰」

「水落石出是豪士之骨格」

漢詩三行「半世萍遊乏食資」 正水蘭洲

竹石図「怪石太古色 叢篁蒼玉棘」 渡辺如山（如山人）

山水図 阪田鷗客（鷗客阪田愛）

山水図 西湖画（壬子仲秋作于幼々書斎棘心陳人徵）

桜木図 小林寒林（辛未初秋寫寒林迁生）

文稿「趙武靈王胡服論」 河本正安（河本一未定稿）

寿老人図「略寫此圖謹以祝金陵導師誕辰」橋本雪蕉画(雪蕉素)

葡萄酒 玉庵(玉庵道人八十二歳)

和歌三行書「千早振神ぞしるらん」愛宕通旭(通旭)

歴史画 菊池容斎筆

芳野南山肖像 柳澤文眞画(乙酉四月下浣寫於對峰樓文眞山人)

漢詩四行書「東風昨夜拂扶桑」芳野南山(芳野霽)

菊図 芳野南山賛 雲蕉画

朱文公勸学詩 芳野南山書

文稿「蒹葭亭記」芳野南山(芳野叙卿)

春夜宴桃李園序「芳野金陵」書

漢詩七行「中秋無月獨坐遣興」芳野仁里(源世元)

未装および捲り

漢詩七行書 貝原篤信(八十翁貝原篤信書)

張仲景先生祠墓記 写本

漢詩五行書 六枚 亀田綾瀬(綾瀬亀田梓書)

「拊堤潮水四無涯」

「東南尽水西北山」

「宿醒「破損」 酌賣花聲」

「黄鶯啼且杜鵑偏」

「不寒不暖清明漸」

「春江看尽三春花」

二字書「清風」 亀田綾瀬(綾瀬)

二字書「噴雪」 亀田綾瀬(綾瀬亀田梓書)

四字書「開來繼往」 亀田綾瀬(亀田梓書)

漢詩四行書「終始易地」 池尻葛覃(池尻葛覃始)

漢詩三行書「台陰卜居」 清水楽山(学圃迂叟畸)

正気歌 清水楽山(文久癸亥孟春仲浣於竹窓底 藕潭外史清水)

畸書)

漢詩三行書「歲晚折梅贈金陵芳先生」 昆淵斎(淵斎昆常)

漢文四十一行書「介之推論」 林毛川(林棟撰 男陳書)

山水図 崑山老人

漢詩二行書「雨中登妙見山」 槐園

漢詩二行書「送人帰熊本」 槐園主人

漢詩二行書「鳴門春望」 槐園龍

梅図賛「己卯春作於徳島蕉雨樓併欲以贈芳野道兄」 槐園龍

和歌二行書「庭梅」 槐園(槐の園のあるし)

和歌二行書「里梅」 隆豊

和歌二行書「こそ除夜二よめる哥」 槐園(槐の園のあるし)

和歌二行書「降雪は袖にはらへと」 橘東世子(東世子)

漢詩三行書「歳旦試筆」 石城迂人

- 篆書大字 二枚 「小隱」「虛名」 池永一峯
 漢詩三行書「感寓十首之一」 松平春嶽（鷗渚閑漁客夫）
 一行書「壽似山」 小笠原長生（長生）
 二字書「全善」 小笠原敬齋
 漢詩三行書「有感時事」 窪田鎮勝（鎮勝草）
 花鳥圖「独坐黃昏誰是伴」 桜井雲心画賛（雲心山人）
 漢詩三行書「咲罷還論處世難」 川上花顛
 漢詩二行書「忠孝傳家國」 齊燮元
 漢詩三行書 二枚 江木千之
 「汝知大義記吾言」（狂塙旧作）
 「山村纒紐兩三家」（狂塙居士千）
 漢詩三行書「陽氣發處金石亦透」 七十八歲南山書
 漢詩十行書「題鵬翁山水画似金陵芳堃老先生乞教」 肥田堃徹
 漢詩四行書「壬申仲冬東京客中偶成」 天然陳人
 芳野金陵墓表拓本「金陵芳野先生之墓」
 漢文「春夜宴桃李園序」 四枚 芳野金陵（辛未首夏金陵芳野育書時年七十）
 漢文二行書「魏徵十思疏」 一枚 芳野金陵（金陵芳野育書）
 漢文二十五行書「松抱閣記」 草稿 芳野金陵（明治九年丙子八月朔七十五翁金陵芳野育撰併書）
 漢文八行書 草稿「山亦有媚乎」 無落款〔芳野金陵〕
 漢文四行書「書宮本武藏畫達磨後」 無落款〔芳野金陵〕
- 漢詩五行書「戊辰十月拝觀東幸盛儀、欣然恭賦」 芳野金陵
 （明治九年五月七十五翁天鬻老人育）
 漢詩四行書「靜以修身儉以養德」 芳野金陵（金陵老人芳野世育）
 漢詩三行書「三冬未半属春陽」 芳野金陵（甲戌首春二日七十二翁金陵育）
 漢詩三行書 二枚 芳野金陵
 「自愧虛名致鶴書」（七十七翁天鬻浪人育）
 「舊製」（七十七翁金陵育）（虫損多）
 漢詩三行書「薰風線出幾織絲」 芳野金陵（乙亥夏日七十四翁育）
 漢詩三行書 二枚 無落款〔芳野金陵〕
 「千年古廟草茸々」
 「一谷赤旛繞海空」
 漢詩二行書「流霞不及人間酒」 無落款〔芳野金陵〕
 五字書「讀我書書屋」 芳野金陵（明治九年秋日金陵育書于登戶海看樓）
 四字書「綠艷傲霜」 芳野金陵（應水谷君囑、甲戌四月、七十三翁金陵育書、時年七）
 四字書「以順為正」 芳野金陵（育書）
 四字書「厚德載物」 芳野金陵（金陵老人育書）
 一行書「神安氣亦平」 芳野金陵（丁卯季春天鬻老人育書）

一行書「圖書氣味長」 無落款〔芳野金陵〕

一行書「溫良恭儉讓」 芳野金陵（丁卯季春金陵老人芳野育書）

一行書「山花水鳥皆知己」 芳野金陵（丁卯季春天鸞老人育書）

一行書「讀聖賢書 所學何事」 芳野金陵（金陵育書）

一行書「尺布無私 一瓜必共」 芳野金陵（金陵老人芳野育書）

一行書「蚯蚓霸一穴 神龍輕九天」 芳野金陵（金陵育書）

一行書「寡欲知身健 安貧覺累輕」 芳野金陵（金陵老人育書）

一行書「山幽雲多愁 身閑夢亦清」 芳野金陵（金陵老人育書）

一行書「事拋高枕文 興在讀書中」 芳野金陵（金陵育書）

一行書「但看花草落 不言人是非」 芳野金陵（金陵育書）

一行書「至樂在襟懷」 芳野金陵（金陵育書）

一行書「自喜軒窗無俗 亦知草木有真香」 芳野金陵（金陵芳野育書）

育書）

一行書「讀書志在聖賢 為官心存君國」 芳野金陵（金陵老人

芳野育書）

一行書「遶屋四圍都是水」 芳野金陵（金陵老人芳野育書）

一行書「林中無榮」 無落款〔芳野金陵〕

一行書「座銘漆園養生主 屏列柴桑歸去來」 芳野金陵（金陵

老人育書）

一行書「座銘漆園養生主 屏列柴桑歸去來」 芳野金陵（金陵

老人芳野育書）

一行書「大貴莫過學道」 芳野金陵（戊寅四月既望七十七翁

匏字育）

一行書「大貴莫過學道」 無落款〔芳野金陵〕

一行書「應宵聽雨」 芳野金陵（金陵陳人芳野育書）

一行書「忠孝吾家之寶 經史吾家之田」 芳野金陵（金陵老人芳

野育書）

漢詩文十一行「送牧野謙庵」 芳野世經（芳野世福拜）

漢詩二行書「辛未秋日騎行賞楓瀧溪寺」 芳野桜陰（櫻洲無用

男子）

漢詩八行書「戊寅四月念六日訪金陵芳埜先生於大塚里、先生不

在、令嗣世經君留余置酒優待、賦此鳴謝」 賴支峰（賴復拜）

漢詩三行書「四月廿六日訪芳野先生、席次邂逅鹽谷老大兄、賦

以博一粲」 望月綱、漢詩二行書「訪寄所寄山莊」 重野成齋（重

埜釋）

筆談草稿（明治十一年四月二十日、二十五日） 紙片三十四枚

附·公使館員名刺（何如璋、黃遵憲、沈文榮、廖錫恩）

二十六行（四月二十日偕大清沈黃諸君訪金陵先生宴占春

園、倒用源哀公詩韻以呈）

青山延壽詩稿十行「春日宴占春園、園係旧守山侯第、即金

陵先生居也、有碑」

黃遵憲詩稿九行（主人長占好樓台）

黃遵憲詩稿十行（座不空樽比孔融）

- 廖錫恩詩稿十四行（蒙青山先生招、訪金陵老人於占春園、得陪諸君子）、
 沈文燮詩稿十四行（春風吹煙色芳華）、
 七行（久聞沈先生大名）、
 三行（今日何張二公使因有他約）、
 四行（三君中君似尤少年）、
 九行（敬悉厚意當以轉達公使）、
 十行（夙慕儒宗時深景仰）、
 二十八行（前讀大著序文欣仰無似）、
 四行（金陵老人是漢伏生）、
 二十一行（在座諸君姓字）、
 六行（諸公已經見弊邦所謂櫻花）、
 七行（侍酒者想是金陵老人孫曾輩）、
 六行（方今以詩名者何人）、
 六行（方今有許多鉅匠）、
 六行（貴邦詩曾有沈婦愚袁隨園）、
 三行（聞有陳碧城者）、
 四行（古詩雖有聲調）、
 三行（唯詞曲一道僅用四聲）、
 三行（讀趙執信聲調譜）、
 五行（柴舟是韶州曲）、
 六行（文待詔書帖酷似山谷）

- 十一行（懷素曰人並）、
 四行（璞山 先生之居）、
 十四行（主人庭上有首陽山）、
 三行（一皿筍薇庭園所生）、
 八行（洵々然々、若陽潛庵先生、其學奉王氏）、
 二行（君若惡甜酒）、
 六行（日向暮矣）、
 野紙十行（前辱招飲於占春園）、
 何如璋詩稿六行（道溯唐虞三代還）

占春園雅宴圖 草稿 二枚

小品書畫

- 橫三字書「不如字」 龜田綾瀨（綾瀨梓書）
 漢詩六行書「問行無幾里山色」 尾藤水竹（水竹拙者）
 漢詩五行書「腹有乾坤君識不」 佐田竹水（竹水主人）
 漢詩三行書「落々胸中竹」 野田笛浦（笛浦小史）
 山水畫贊 桂崖画 安井息軒（半九陳人） 四行漢詩
 漢詩五行書「黃瞳銳鼻悍其顏」 羽倉簡堂（蓬翁用九）
 漢詩五行書「天才英特素名流」 島雪髯
 漢詩六行書「花片乱殘鳴暮禽」 島雪髯
 漢詩四行書「辛未嘉平月錄戒豆詩」 齊梅皋（六十一叟梅皋）

泰)

三行書「學貴知要」—山田業広（椿庭主人）

漢詩四行書「罷官三首之一」—木原老谷（老谷）

漢詩五行書「滿面痘痕髮掩眉」—塩谷實山（實山）

漢詩五行書「經史從來是我師」—塩谷實山（誠草）

漢詩四行書「路上答人」—清水樂山（樂山崎）

漢詩四行書「偶成」—渡東嶠（東嶠）

漢詩五行書「山居偶成」—渡東嶠（東嶠渡輿）

漢詩四行書「焚香洗鉢幾何年」—松林飯山（飯山）

漢詩四行書「寄山中故人」—岡千仞（千仞生）

漢詩四行書「東海西洋一衣帶」—川田甕江（瓮江漁夫）

漢詩九行書「金陵先生見寄復堂遺稿賦贈」—岡松甕谷（岡松辰）

漢詩五行書「庚子中秋泛遊詩錄博金陵老詞臺一粲」—頼支峯

（復）

二字書「思舊」—徳川昭武（壬申花月 鑾山）

三行書「應金陵先生之囑」—五師辰

漢詩四行書「又向江湖」—（蓑橋漁隱）

漢詩三行書「欲浮一葦訪幽居」—芳野金陵（金陵老人育）

漢詩四行書「想像幽人遵又寬」—芳野金陵（金陵陳人育）

漢詩四行書「雖鵲有巢」—芳野金陵（金陵陳人育）

漢詩四行書「遲雁斜行度」—芳野世秀（秀野人）

